

立神広場整備活用計画（追補版）

立神広場整備（補強・展示他）設計業務



令和 3 年 3 月
佐世保市

もくじ

1. 業務の実施方針

(1) 概要	3
(2) 追加修正等の対応表	4
(3) 基本理念	6
(4) 基本方針	6
(5) 基本理念等を達成するための整備方針	7

2. 当初計画からの変更

(1) ゾーニング計画及び動線計画の変更	8
(2) ゾーン別整備計画の変更	9
(3) サイン計画	13
当初計画と本計画との比較表	14

3. 各図面

イメージパース	18
全体配置図	19
全体配置図 解説付き	20
全体断面図	21
全体断面図 解説付き	22
全体外構配置図	23
全体外構立面図	24
全体外構植栽イメージ	25
新築ガイダンス施設 平面図	26
新築ガイダンス施設 立面図	27
新築ガイダンス施設 断面図	28
新築ガイダンス施設 仕上げ表	29
新築ガイダンス施設 照明計画図	30
新築ガイダンス施設 照明表	31
新築ガイダンス施設 空調計画図	32
新築ガイダンス施設 空調表	33

4. 展示

(1) 展示構成要素の検討と展示の基本的な考え方	34
(2) 展示リスト	35
(3) 既存煉瓦倉庫 展示構成図面	36
(4) 新築ガイダンス施設 展示構成図面	37

(5) 各建物の収容人数想定	38
(6) 各コンテンツ	
① 再発見煉瓦倉庫群（投影式映像）	39
再発見煉瓦倉庫群（スマホ型映像）	
② 佐世保鎮守府なりきり体験	40
③ 佐世保鎮守府の歴史	41
④ サテライトへGO 構成概念	43
⑤ ポータブルサイト構成	48

5. 管理運営に関する検討

(1) 立神広場の集客分析	50
(2) 都市公園の管理運営体制の状況	55
(3) 先進事例調査	61
(4) 事業発案時のマーケットサウンディング	82

6. 参考資料

(1) 仕様書案と最終提案書案の特徴・課題	91
(2) 弾薬庫跡の保存と公開について	93
(3) 既存煉瓦倉庫基礎部分の保存と公開について	94
(4) 展望台の位置について	95
(5) 展望台の高さについて	97
(6) 展望台の形状について	99
(7) 橋梁と駐車スペースの課題について	100
(8) 橋梁の移動に伴う課題	103
(9) 建築指導課との協議①	104
(10) 建築指導課との協議②	105
(11) 建築指導課との協議③ 開発について	106
(12) 水道局との協議① 下水道について	107
(13) 土木政策管理課との協議① 占有許可について	108
(14) 土木政策管理課との協議② 道路照明灯について	109
(15) バス停との間隔について警察との協議	110
(16) 電柱移動に関する九州電力との協議	111
(17) 法検討について	113

1 業務の実施方針

(1) 概要

本計画は、平成30年度策定の『立神広場整備活用計画』（以下「当初計画」）に関して、旧軍港市国有財産処理審議会（以下「軍転審」）等の意見を踏まえ、文化財・建築・観光等の有識者で構成されたワーキング会議において計画内容を再度検討・協議し、展示活用機能の充実や、より具体性を持った計画へと追加修正したものである。

当初計画の構成内容のうち、

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 計画策定の経緯と目的 | 3. 立神広場の概要と価値 |
| 2. 立神広場を取り巻く環境 | 4. 整備活用のための課題と対策 |

の項目については、原則、当初計画を踏襲、または準ずるものとし、

- | | |
|--------------|----------|
| 5. 基本理念と基本方針 | 7. 事業計画 |
| 6. 整備基本計画 | 8. 完成予想図 |

の項目について追加修正を行うものとし、別途対応表でその範囲を示す。

(2) 追加修正等の対応表

当初計画 ページ	項目	本計画 ページ	追加修正内容
5 基本理念と基本方針			
P53	(1) 基本理念	P5	具体的なターゲット層を設定
P55	(2) 基本方針	P6	内容と課題を追加
6 整備当初計画 (1) 整備計画 1) ゾーニング計画及び動線計画			
P56	①ゾーニング計画	P12	課題とレイアウトの変更
P57-58	②動線計画	P8	本計画図面に合わせて修正
6 整備当初計画 (1) 整備計画 2) ゾーニング別整備計画			
P59	①ガイダンス機能ゾーン	P9	新築ガイダンス施設について追加
P60	ガイダンス施設の展示整備 イメージ	P36-37	本計画に合わせて修正
P65	②眺望・多目的広場ゾーン ア 眺望広場の整備	P10	本計画に合わせて修正
P65	イ 多様なアクティビティに 対応する多目的広場の整備	P10	本計画に合わせて修正
P66	ウ 休憩所の整備	P10	本計画に合わせて修正
P66	エ トイレの整備	P11	本計画に合わせて修正
P66	オ サイクルステーションの 整備	P11	当初計画と同様
P67	③緑地・管理ゾーン ア 駐車場の整備	P12	本計画に合わせて修正
P67	イ 出入口橋梁の整備	P12	本計画に合わせて修正
P67	ウ 遊歩道（園路）	P12	本計画に合わせて修正
P68	エ 緑地の整備	P12	本計画に合わせて修正
P69	候補樹種	P25	本計画に合わせて修正
P70	オ 給排水整備及び電気設備 の整備	P12	新築建物に関する記述を追加
P70	カ 安全施設等の整備（柵、 手すり）	P13	具体的な整備場所を追加
P71	3) サイン計画	P13	指針を追加

6 整備当初計画 (2) 活用計画			
P72	1) 観光拠点としての活用計画	P6	ターゲット及び活用計画を追加
P73-74	佐世保フィールドミュージアムのコース(案)	P43-47	展示と合わせた活用を追加
6 整備当初計画 (3) 管理運営計画			
P81	1) 管理計画	P50	先進事例等を含めた検討を追加
P81	2) 運営計画	P55-81	先進事例等を含めた検討を追加
P81	3) 民間活力の導入手法の検討	P82-89	具体的な複数企業・団体へのサウンディング追加
8 完成予想図			
P87	(1) 完成イメージ図	P18	本計画に合わせて修正
P88	(2) 平面図	P19-33	平面図、配置図等を追加

(3) 基本理念

基本理念については当初計画を踏襲する。

基本理念

佐世保の昔と今をつなぐフィールドミュージアム
～日本遺産を活かした体感と学びの拠点づくり～

- ・文化財の価値を活かした歴史公園への整備
- ・日本遺産「鎮守府」拠点施設への整備
- ・ターゲット層については歴史好きやファミリー層（特に子供やカップル層などを基本としつつ、好奇心旺盛な40代女性を+αの新たなターゲットとする

(4) 基本方針

また、基本方針も当初計画を踏襲する。

基本方針1

佐世保フィールドミュージアムの起点となる広場

内容と課題

- ・日本遺産「鎮守府・佐世保」の核となるコンテンツ
- ・各所のストーリー性のブラッシュアップ
- ・各所への観光客の誘導と仕掛けづくり

基本方針2

郷土愛と郷土の誇りを醸成する学びの場となる広場

内容と課題

- ・地元らしさの発露と愛着を持たせるデザイン
- ・佐世保に今なお残る国内屈指の技術者の足跡や施設等、近代化の躍動感の表現とその情報発信
- ・地元住民に対するマーケティング

基本方針3

多様な世代が集い楽しむ広場

内容と課題

- ・広場内設備の充実及びバリアフリー化
- ・多様な年齢層に対するコンテンツ
- ・イベント活用等による交流の活発化

(5) 基本理念等を達成するための整備方針

基本理念・基本方針及びそれぞれの方針を実現するために、以下のような整備方針を設定する

広場について

- ・ 佐世保らしい形やテーマと多様な世代が集い楽しみやすいグランドデザイン
- ・ 現状の遺構や倉庫も広場の空間を構成する要素としてデザインに落とし込み公開する
- ・ イベント活用等のため、ある程度広く開放的で滞在しやすい空間を確保する
- ・ 駐車場スペースを目標来場者数に沿って計画し広場内の動線を明快なものにする

建物について

- ・ 上記課題を解決するための、ガイダンス機能と展示/ 情報発信の機能を有する
 - ・ 既存煉瓦倉庫及び遺構を郷土愛を育むものとして保存・活用する
 - ・ 多様な世代に対応するために飲食や休養・便益機能(売店・便所等)を整備する
- 上記を満たすためには現状既存倉庫(182 m²)では面積が不足するため、新規に建物を整備する

コンテンツについて

- ・ ICT 技術を用いて個人所有の端末等で完結できる コロナ型コンテンツ企画
- ・ 上記のニーズに沿わない多様な世代に対応するための ICT に頼らないコンテンツとそれらを学びに結びつける仕掛け作り
- ・ 展示に関しては鎮守府の当時の様子を再現し、体感できるようなコンテンツ作り。
詳細は後述 (P39以降参照)
- ・ より発展性を求めるために指定管理者制度の導入を検討。先進事例を調査し、運営候補者や地元の企業、団体、住民を巻き込む

2 当初計画からの変更

複数回に亘る協議及びワーキング会議、また文化庁との協議によって、各建物には下記のような方針の変更を行った。

詳細及び変更の経緯については次章の各図面と本書P93以降

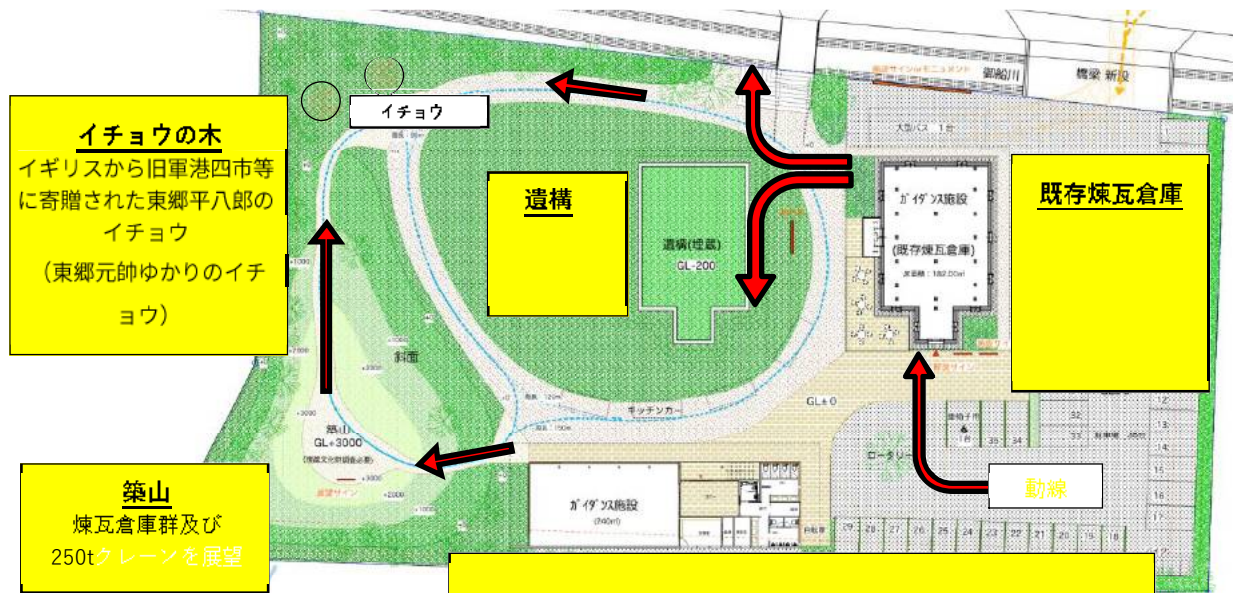
「参考資料 当初計画の再検討」参照。

(1) ゾーニング計画及び動線計画の変更

本計画では、当初計画で設定されていた「ガイダンス機能ゾーン」「眺望・多目的広場ゾーン」「緑地ゾーン」の区分けを踏襲するものの、全体の配置は大きく変更した。

この再配置によって、広場へ進入動線及び広場内の回遊動線がより自然な形となった上、より自由度の高い活用方法を期待できるようになった。

各配置及び特徴については後述の「(2) ゾーン別整備計画の変更」参照



(2) ゾーン別整備計画の変更

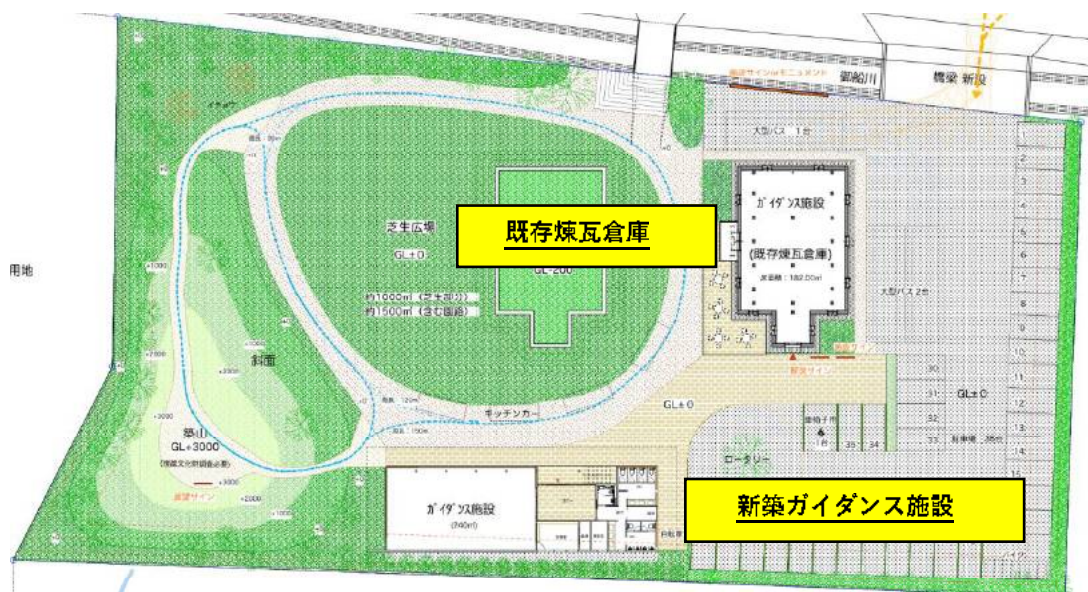
①-1 既存煉瓦倉庫

日本遺産「鎮守府」の煉瓦造り技術や、近代化の躍動感を学ぶことのできる展示に特化し、本物を見せることにコンセプトを置いた展示を行う空間として整備する。

デジタルに相対するアナログな展示が基本となる。また、倉庫内に休養施設機能も持たせる。

①-2 新築ガイダンス施設

既存煉瓦倉庫内に休養施設機能が追加されたため、本来のガイダンス施設機能として面積の不足が課題となった。そこで、日本遺産「鎮守府」拠点施設機能を持つ建物を新築し、整備することとした。ここではデジタル的展示を基本として、それらを用いて構成文化財や当時の技術、歴史を学ぶことができ、フィールドミュージアムの起点ともなるべき役割を担う。



② 眺望・多目的広場ゾーン

ア) 眺望広場の整備

眺望広場ゾーンは南方2か所の配置から、南西側の1か所に集約し、整備方法は築山の造成と設定した。また、視点の高さが地上4.5m程度となるよう、築山の高さを3m程度とし、バリアフリーの観点からゆるやかなスロープ型の回遊園路を設けることとした。

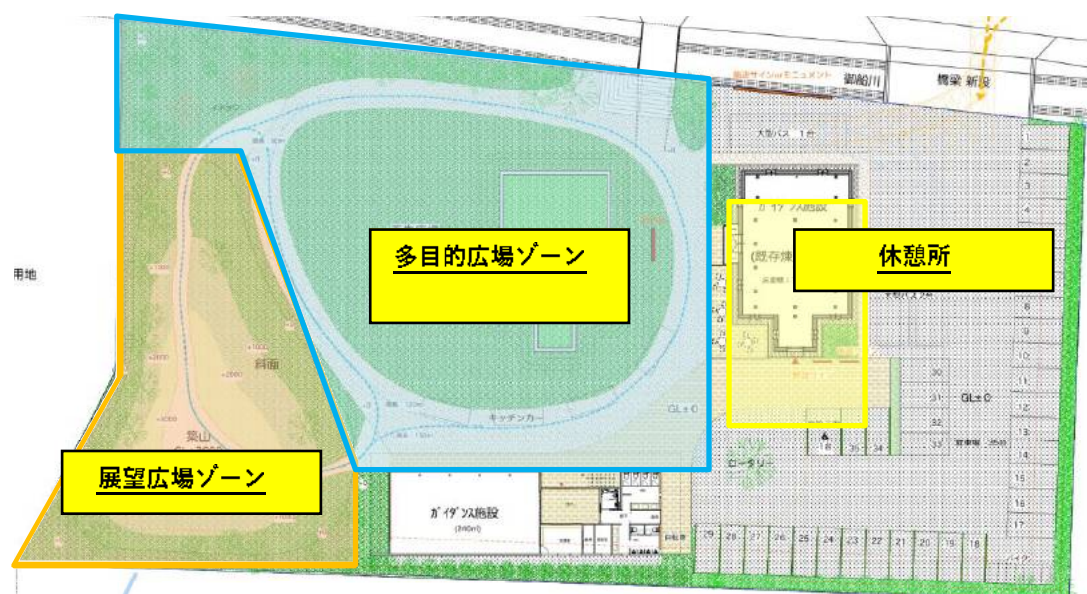
イ) 多様なアクティビティに対応する多目的広場の整備

機能想定は当初計画から踏襲したが、より多様なアクティビティに対応するために駐車場スペースを移動させた。

中心動線としての遊歩道がなくなり、広場中央に位置する遺構も基礎の輪郭をそのまま公開し、その他の部分を芝生で保護する整備方針となったことから、より広い面積が一体となり、より多くのアクティビティに対応することが可能となった。

ウ) 休憩所の整備

既存煉瓦倉庫内に休養施設機能等（休養スペース、飲食店舗）も持たせる。当初の東屋は廃止する。ベンチ等は広場の随所に設置し、遊歩道の利便性を高める。



エ) トイレの整備

当初は独立した1棟の建物だったが、新築ガイダンス施設が建てられることを鑑み、来場者の誘導とコスト削減案として、新築建物内に併設された。ただし、新築ガイダンス施設の閉館後も一般利用客が屋外から直接利用することができる出入口を1か所設ける。

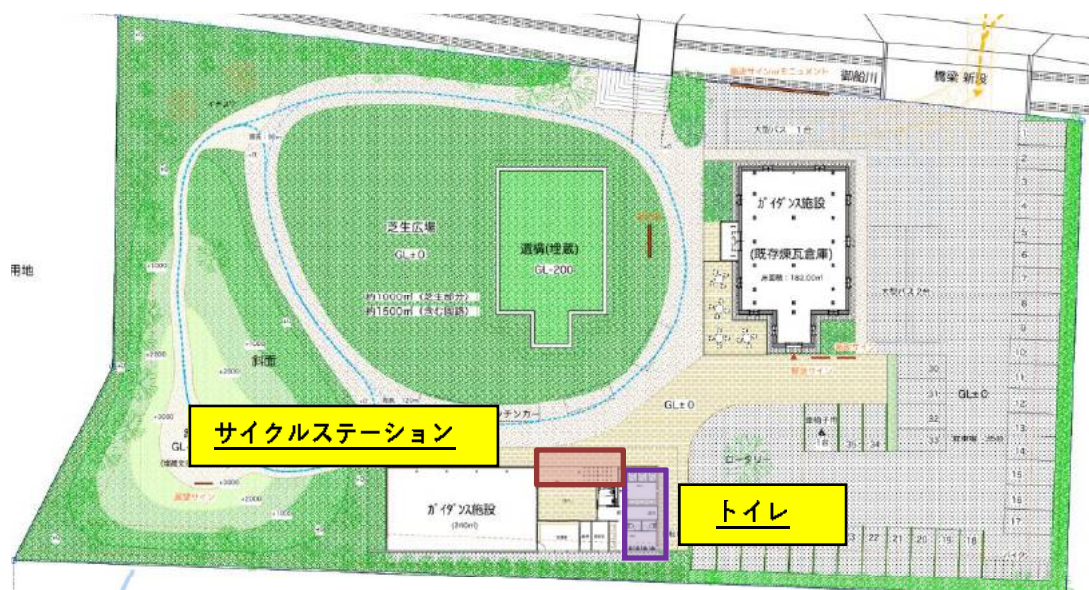
設備数は

- ・男性：洋式便器2基、小便器4基
- ・女性：洋式便器4基
- ・多目的：1基（授乳室・おむつ替え室としても利用）

となり、団体客の利用を考慮し、当初計画よりも多く設定。

オ) サイクステーションの整備

当初計画ではガイダンス施設付近に設置する予定だったが、新築ガイダンス施設が建てられることから、そちらの入口近辺にサイクルスタンドを整備する。



③ 緑地・管理ゾーンの変更

ア) 駐車場の整備

当初計画の中では西側に設置されていた駐車場は、広場内の多目的広場ゾーンの拡大、橋梁の角度の問題、予算の問題等の観点から東側へと移動する。

これによる駐車場の内訳も当初計画と同程度を確保する。

- ・乗用車 35台
- ・大型バス 3台
- ・車椅子用スペース 1台
- ・バイク 7台

となった。

イ) 出入口橋梁の整備

上記駐車場スペースの移動に伴い、橋梁も広場東側へと移動する。これにより、9.6～12°となっていた橋梁の角度を5.1～7.5°とすることができ、想定される大型バスの入場の際にリスクとしてとらえられる鼻先打ちも回避することができることとなった。また、橋梁の高さを下げることができるようになったため、整備予算自体も軽減される。

ウ) 遊歩道（園路）

中心動線は駐車場の移動と新設ガイダンス施設の建築により、廃止となった。それに代わり、駐車場からより近い移動距離で各施設に入館することができるようになった。また、遊歩道の車幅は当初計画を踏襲し、キッチンカーや搬入車両等が進入することができる幅を保持する。

エ) 緑地の整備

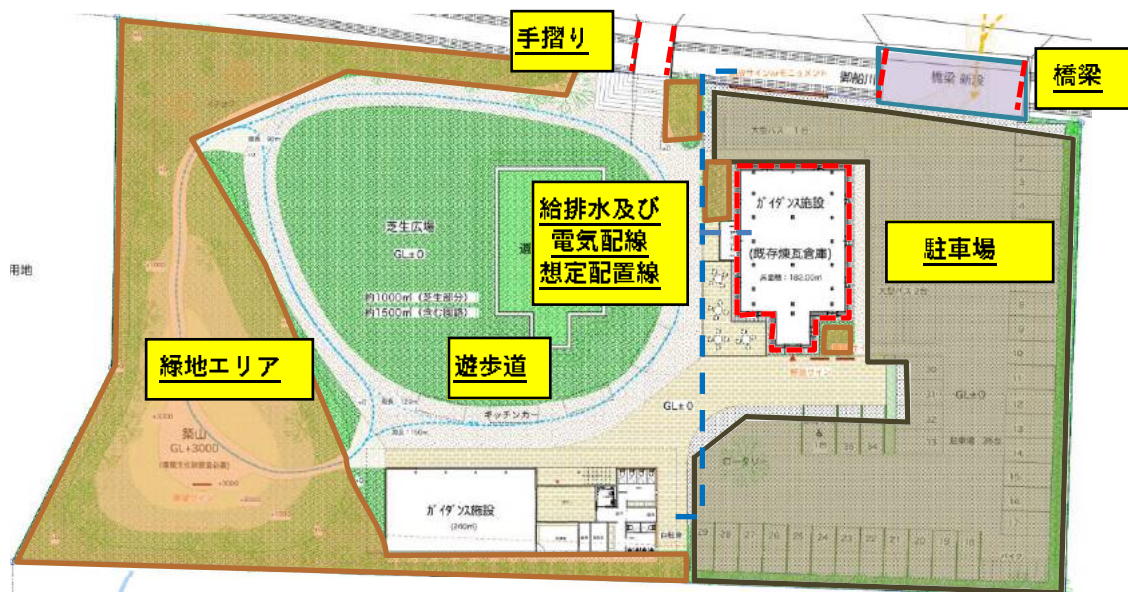
当初計画の設定を基にしつつ、季節ごとの落葉樹も取り入れた。既存煉瓦倉庫の周囲等にも緑化を計画し、眺望ゾーンも一帯を芝生化する。

オ) 給排水整備及び電気設備の整備

当初計画時とは異なり、既存煉瓦倉庫内に休養施設を設け、また新しいガイダンス施設（便益機能）を設けるため、給排水及び電気設備に関しては再度検討を行い、それぞれに埋設で整備する。電気を引く際の課題については本書 P104「参考資料 当初計画の再検討（8）橋梁の移動に伴う課題」を参照。

カ) 安全施設等の整備（柵、手すり）

当初計画時には具体的な配置等を設定していなかったが、既存煉瓦倉庫周囲の遺構公開に伴い、手すりの整備を設定した。また、広場北側の2か所の進入口にも手すりの整備を設定した。



(3) サイン計画

当初計画時に設定されていた各種サインを踏襲しつつ、国土交通省の発表している「観光活性化標識ガイドライン（H17年6月）」及び「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」に基づき、サイン計画を行う。具体的なデザインに関しては実施設計時に作成する。

また、広場中央の遺構の公開に伴い、この遺構に関するサインも配置する。

当初計画と本計画との比較表

事項	当初計画	本計画
ゾーニング計画及び動線計画	「ガイダンス機能ゾーン」「眺望・多目的広場ゾーン」「緑地ゾーン」の3つの区分けを設定	当初計画と同様
	広場中央に中心動線	駐車場移動に伴い中央動線は廃止
	回遊動線は歩行者進入路が起点	広場の進入動線と回遊動線を同じ起点として設定。より自然な動線へ
既存煉瓦倉庫	ガイダンス機能のみ	ガイダンス機能と休養施設として活用
	受付と事務室整備	受付と事務室は新築ガイダンス施設へ
	佐世保鎮守府の価値の理解を深める展示を整備	当初計画と同様
	来訪者を各観光ルートへ繋げる仕掛けも整備	各観光ルートへの波及は新築ガイダンス施設にて整備
	保存及び復元、それに伴う各改修を計画	当初計画と同様
新築ガイダンス施設	-	「鎮守府」拠点施設機能を持つ
		デジタル展示が基本
		フィールドミュージアムの起点へ
眺望広場の整備	広場南方に2か所	広場南西に1か所のみ整備
	-	整備方法は築山
	-	遊歩道をゆるやかなスロープにする

事項	当初計画	本計画
多様なアクティビティに対応する多目的広場の整備	基本的な公園機能	当初計画と同様
	展示内容と一体化する広場空間	当初計画と同様
	-	駐車場移動に伴い面積増加
	-	遺構の公開
休憩所の整備	東屋の配置	東屋は廃止
	ベンチの配置	広場の随所に配置
	-	既存煉瓦倉庫内に休養施設機能を配置
トイレの整備	独立した1つの建物として整備	新築ガイダンス施設内に配置
	男性：洋式×1、小便器×3	男性：洋式×2、小便器×4
	女性：洋式×3	女性：洋式×4
	多目的：×1（授乳室・おむつ替え室としても活用）	当初計画と同様
サイクルステーションの整備	ガイダンス施設付近に設置	新築ガイダンス施設入口付近に設置
	レンタルサイクルの運営	当初計画と同様
	サイクリスト用スタンドの設置	当初計画と同様
駐車場の整備	広場内西側に整備	広場内東側に整備
	乗用車×35台、大型バス×3台	当初計画と同様
	-	車椅子用スペース×1台、バイク×7台
出入口橋梁の整備	広場内西側に整備	広場内東側に整備
	大型バスが進入可能な橋梁幅	当初計画と同様
	勾配：9.6-12°	勾配：5.1-7.5°

事項	当初計画	本計画
遊歩道（園路）	中心動線：5m幅、水はけがよく、凹凸の少ない素材	中心動線は廃止
	回遊動線：2m幅、水はけがよく、凹凸の少ない素材	回遊動線：2-5m幅、水はけがよく、凹凸の少ない素材（インターロッキング程度）
	-	広場内の車両の乗り入れ想定
緑地の整備	多目的広場ゾーンは全面芝	当初計画と同様
	広場東側及び南側は常緑中高木及びフェンスへのツル植物	広場東側及び南側は常緑中木
	広場西側は常緑高木	広場西側は最奥に常緑高木、手前に季節の花・紅葉等のなる落葉樹を下枝を処理して配置
	敷地北側は常緑・落葉中高木	敷地北側は最奥に常緑中木、手前に季節の花・紅葉等のなる落葉樹を下枝を処理して配置
給排水設備の整備	トイレ、手洗い場への給排水整備	既存煉瓦倉庫及び新築ガイダンス施設への給排水整備
	敷地外周部の既設管から整備	当初計画と同様
電気設備の整備	トイレ、手洗い場への電気設備の整備	既存煉瓦倉庫及び新築ガイダンス施設への電気設備整備
	JIS 照度基準に則った配置	当初計画と同様
	配管は地中埋設を基本とする	当初計画と同様
	夜間ライトアップやイベント時の利用を考慮	当初計画と同様
	省エネルギーに配慮	当初計画と同様
	-	駐車場の移動に伴う電柱の支線補助を行う

事項	当初計画	本計画
安全施設の整備（柵、手すり）	必要に応じ整備	遺構公開に伴い、既存煉瓦倉庫周囲に整備
	-	広場北側の歩行者進入口及び新築橋梁にも整備
サイン計画	広域誘導サインの整備	当初計画と同様
	モニュメント・総合案内サインの整備	当初計画と同様
	解説サインの整備	当初計画と同様
	多言語対応	当初計画と同様
	その他解説案内に適したサイン計画	当初計画と同様
	-	国土交通省の基準に基づき整備

3 各図面

イメージパース	18
全体配置図	19
全体配置図 解説付き	20
全体断面図	21
全体断面図 解説付き	22
全体外構配置図	23
全体外構立面図	24
全体外構植栽イメージ	25
新築ガイダンス施設 平面図	26
新築ガイダンス施設 立面図	27
新築ガイダンス施設 断面図	28
新築ガイダンス施設 仕上げ表	29
新築ガイダンス施設 照明計画図	30
新築ガイダンス施設 照明表	31
新築ガイダンス施設 空調計画図	32
新築ガイダンス施設 空調表	33

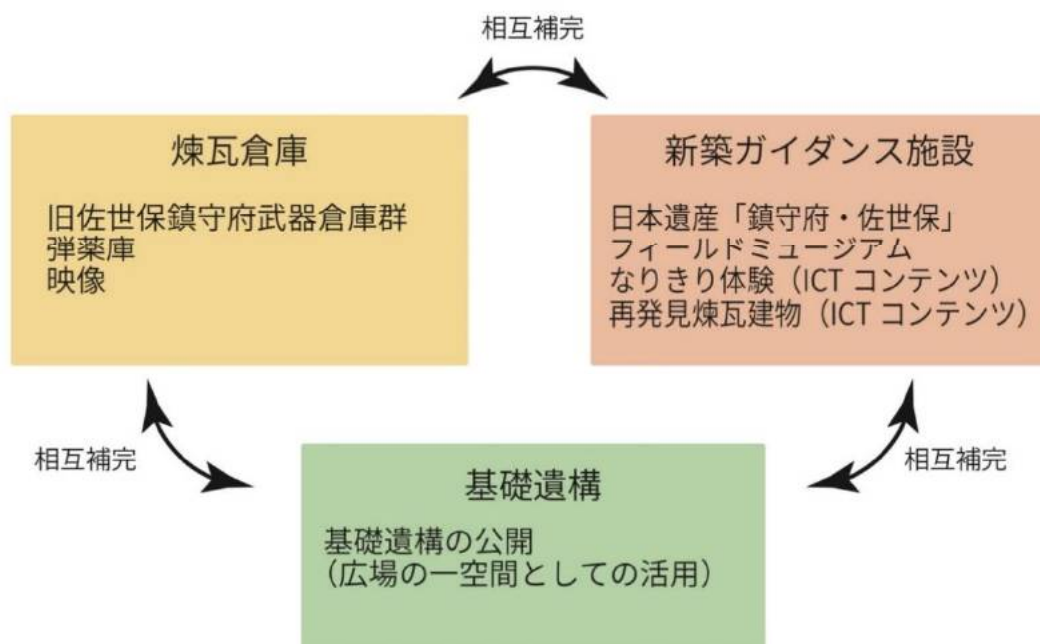
4 展示

(1) 展示構成要素の検討と展示の基本的な考え方

- ・展示の本計画は、平成31年3月に策定された「立神広場整備活用計画」を基に策定する。
- ・敷地内に現存する煉瓦倉庫と当時の基礎、さらに新たに建設する新築ガイダンス施設がそれぞれに役割分担を持ち補完し合う展示内容とする。
- ・煉瓦倉庫と遺構については佐世保市としての貴重な文化財と捉え、適切な保存と情報提供を行う。

展示の基本方針

- ・煉瓦倉庫では市内にある倉庫建築群と倉庫の建築的な特徴や技術者エピソード等を紹介する。今回行われる耐震補強についても紹介する。
- ・基礎に付いては発掘調査によって得られた情報の概要をサインパネル等で紹介する。さらに新館のテーマ4「再発見煉瓦建物」の中でAR（拡張現実）装置により詳細な当時の様子等を見ることができるよう仕掛けを作る。
- ・新館では「日本遺産の概要」「フィールドミュージアム」「なりきり体験」「再発見煉瓦建物」の4テーマについて、参加性の高い展示手法を取り入れる。特に「フィールドミュージアム」では、フィールドに誘う展示手法としてIC（情報通信技術）を活用して現地へ誘導する動機付けを高める工夫を行う。



(2) 展示リスト

目的	場所	テーマ	小項目	展示概要	主要展示手法
文化財の 保存と 活用	A 煉瓦 建物	【1】煉瓦倉庫群	特色ある倉庫群	立神、平瀬、干尽の各倉庫群を紹介	グラフィックパネル
		【2】倉庫建物	1組積造ってなに？	現在では使われていない組積造について構造、工法、仕上げ等の特徴を紹介	体験
			2組積造ってなに？	佐世保に残る組積造の建物紹介。構造の特徴学習	グラフィックパネル
		【3】企画展示	1.発掘調査出土品	実物資料を紹介	ガラスケース
			2. 人物紹介	吉村長策や真島健三郎など、当時の建造物に関わった人たちの技術や人となり紹介。	グラフィックパネル
		【4】日本遺産「鎮守府」映像	日本遺産「鎮守府」	既存の映像を環境映像として投影	映像
当時の 様子と 躍動感	B 屋外 遺構	当時の様子と躍動感	今も残る遺構	発掘調査の概要を屋外仕様のサインスタンドで紹介	グラフィックサイン
			AR体験	拡張現実を使った装置で広場内の各所から当時の様子をスマホ画面越しに見ることができる	AR体験（拡張現実）
佐世保 鎮守府の 紹介	C 新築 建物	【1】日本遺産と鎮守府	1.日本遺産「鎮守府」についての概要説明	日本遺産の概要と、全国に4カ所ある鎮守府について紹介する。	グラフィックパネル
		【2】再発見煉瓦建物群	AR体験	拡張現実を使った装置で議損基礎を見る当時の建物や行きかう人々が現実の風景に投影される	AR体験（拡張現実）
		【3】佐世保鎮守府	佐世保鎮守府の歴史	明治17年から現在に至る佐世保鎮守府の歴史を日本・世界の出来事と併せて紹介する。また、佐世保鎮守府全ての施設について位置、役割、特徴、技術をプロジェクションマッピング上で紹介する。	プロジェクションマッピング
		【4】フィールドミュージアム	サテライトエリアへGO	立神広場を中心に俵ヶ浦、相浦、針尾送信所、三川地のサテライトから構成文化財28カ所、主要観光地5カ所を個別に選択する事が出来る。各サテライトエリアへの移動ガイド音声には有名声優や俳優を起用し、目的地への旅程自体を楽しんでもらうしかけを作る。GPSと紐づけることで、目的地までのルート自体もコントロールすることができ無料版と有料版を作ることで収益化もしやすい。参加者はガイダンス施設でコンテンツをダウンロードし、まるでその声優または俳優と一緒に旅をしているような体験をすることができる。	床航空写真＋拡張現実
		【5】体験	煉瓦倉庫をつくろう	煉瓦倉庫を模した組み立て式の展示キットを用いた組立体験。当時の技術を紹介する。	制作物、体験
		【6】体験	なりきり体験	Webカメラで自動的に全身が撮影され、当時のコスチュームに画面内で変身できる。	体験

(5) 各建物の収容人数想定

1. 1人当り必要な面積を2.5㎡(※1)と想定し、コロナ対策の場合は4㎡(※2)で想定する。

	用途	面積	想定人数(通常)	想定人数(コロナ)
煉瓦倉庫	展示・休養	164.18 ㎡	65 人	41 人
新築建物	展示・売店	133.30 ㎡	53 人	33 人
合計人数			118 人	74 人

※1: 1人当りの占有面積基準(飲食店3㎡、集会場1㎡)より想定

※2: ソーシャルディスタンス(2m離れる)より想定

小学校の修学旅行の対応(1クラス30人×3クラス=90人程度で想定した場合)

1クラスを煉瓦倉庫、1クラスを新築建物、1クラスを外部に案内し、入れ替えに対応する。

2. 滞在時間の計算(既存煉瓦倉庫)

展示面積 … $\div 80\text{㎡} \times 20\text{秒} / \text{㎡} = 26.6\text{分} (\div 1,600\text{秒})$

新築建物 … $\div 130\text{㎡} \times 20\text{秒} / \text{㎡} = 43.3\text{分} (\div 2,600\text{秒})$

※飲食店舗利用の場合はさらに滞在時間が延長する。

算出条件

- ・1分あたりに読むことのできる文字量を600文字と想定(黙読の場合)
- ・展示物(パネル・キャプション等)の㎡あたりの平均文字数を200文字と想定
(H15-30mm/文字)

※パネルやキャプションの内容によっては画像や図等が挿入され、200文字よりも少ない場合も多いが、平均的な展示パネルサイズ(B2-1、A2-1等)に記載される1テーマあたりの分量のから算出

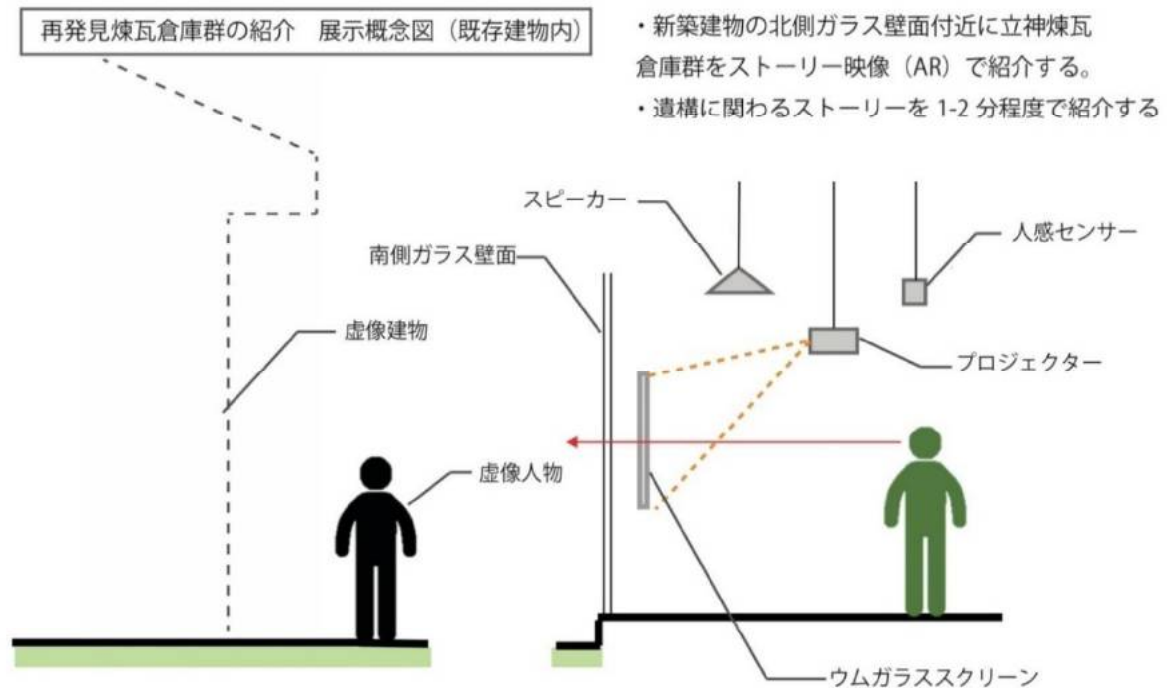
- ・上記の建物内は移動のみのための通路もなく、全体的にコンテンツが配置されること、また映像等のコンテンツ内容は未定ではあるものの、平均的な文化施設コンテンツを大幅に超えることは想定しにくいことから、個人の占有床面積1㎡に対してそのまま200文字分のコンテンツを想定
- ・600文字:60秒=200文字:20秒 よって、上記の建物内での想定滞在時間は20秒/㎡

※博物館滞在時間に関する詳細は下記の資料を参照

- ・Arthur W. Melton 発表
“Visitor Behavior in Museums: Some Early Research in Environmental Design”
(1972) Human Factors 14. No 5.
- ・Stephen Bitgood and Donald Patterson 発表
“The Effects of Gallery Changes on Visitor Reading and Object Viewing Time” (1993)
Environment and Behavior 25 No 6.
- ・Kathleen McLean 著
“Planning for People in Museum Exhibitions” (1993)
Exhibitions of Museum. No 2.
- ・日本展示学会 企画・編集
“博物館の展示をつくる展示論” (2010)
第4章 16節 解説文～展示空間での特殊性～

(6) 各コンテンツ

1-1 再発見煉瓦倉庫群（投影式映像）



1-2 再発見煉瓦倉庫群（スマホ型映像）

AR マーカー（イメージ）



読み取り



・構築したポータルサイト内から、各所に設置された AR マーカー、または GPS 位置情報を読み取って、所定の場所にスマートフォン等を向けると AR 映像を取得できる。
※映像ズレを防止するため、AR マーカーを基本とする

・映像内容は上記投影式映像と同様とする。



上の画像は悪天候時でも晴天時の映像が見られる AR システムである。今回立神広場で導入するものも同様、製作した鎮守府稼働当時の映像を、現在の景色に重ねて見るができるようにする。

2. 鎮守府なりきり体験（筐体型、ポータルサイト型は要検討）

縦型のモニターと対話形式で進められる。

webカメラで自動的に全身が撮影され、当時のコスチュームに変身できる。データはQRコードへのアクセスで来館者のスマホ等にダウンロードできる。

撮影データは、QRコード発行後に自動消去される。

体験の流れ



①来館者がモニターの前に立つとコスプレシステムがスタート



②変身する対象の「佐世保鎮守府長官コスチューム」や「長官夫人」の選択画面が表示される



③撮影スタートへのカウントダウン表示が始まる
3.2.1. でカシャ



④変身完了
QRコードが画面に表示される



⑤QRコードにスマホからアクセスすると、サーバから合成画面データがダウンロードされる

3 佐世保鎮守府の歴史

佐世保鎮守府の歴史を、残された写真をメインに再現CGや実写を交えて構成する。先達の偉大な成果を感動的にドラマ化。

■ストーリー案



①今から130年ほど前、欧米に負けない海軍力の増強を目指していた日本。近代海軍づくりの手始めとして、ここ佐世保に佐世保鎮守府が明治22年（1889年）開庁された。



②日本海軍の艦隊統括機関として国内3番目の鎮守府として設置された佐世保鎮守府。以後、佐世保と深く関わりあいながら歴史を刻んできた。



③鎮守府設置にあたり、佐世保には計画都市として厳しい規制が設けられ、整然とした美しい街並みが形成された。

④そして佐世保鎮守府諸施設の整備には、さまざまな最新技術が開発／導入された。



⑤そのような中、佐世保に造られた第一船渠において、使用されたコンクリートが海水により溶解する事故が起こった。

そこで、海軍技師の真島健三郎と小野田セメントの笠井真三が共同で海水に耐えるコンクリートを開発した。ようやく完成した第一船渠は、今も佐世保重工業の船渠として現役で活躍している。

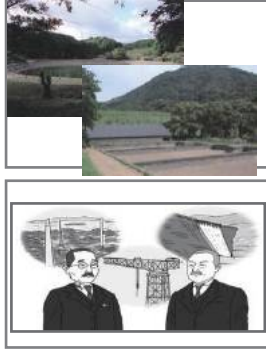
この耐海水コンクリートの開発以来、佐世保鎮守府庁ではコンクリートの応用実験を行っていくことになる。



⑥海軍工廠内に建てられたわが国初の鉄筋コンクリート建物や総コンクリート造りの船渠、佐世保橋などの技術的蓄積はやがて針尾の島にそびえ立つ3本の無線塔を有する旧佐世保無線電信所のような超高層建築物や海軍工廠の大半を占める旧修理艦船係留場のような巨大構造物として結実した。



⑦その修理艦船係留場の附属施設として大正2年（1913年）に完成した250トンクレーンがある。今も佐世保のランドマークとして市民に親しまれている。これらの施設を擁した佐世保海軍工廠は戦後佐世保重工業として佐世保の経済に大きな役割を果たした。



⑧もう一つ、佐世保鎮守府と市民を結びつける大きな施設が残されている。それは岡本水源地や山ノ田水源地、菰田貯水池に代表される水道施設である。

⑨岡本水源地は、当時の国内における水道の第一人者である海軍技師吉村長策が設計して建設された。吉村はこの他、佐世保鎮守府の水不足を解消するために山ノ田水源地も建設。

これにより、市民は水道の恩恵を受けられることとなった。

⑩佐世保鎮守府の発展とともに様々な技術も発展した。

飛躍的に発展した海軍のまち「佐世保」を背景に、数々の高度な技術は発展を続けた。

⑪戦後、先人達が残した数々の先進技術や建築物は、歴史的価値や技術的価値、景観的な価値をもち、後世の人々へ、我々日本人が営々と築いてきた足跡を知る貴重な手掛かりとなっている。

私たちには、この歴史的な遺産を継承して、次世代に伝えていかなければならない使命がある。

4. サテライトへGO 構成概念

床面のフィールドミュージアム地図とグラフィックの2面構成。

床面では、「サテライトカート」を来館者が操作して、地図上を動き回り立神広場をコアとしたフィールドミュージアムの拡がりを目で確かめ、情報を得ることができる。

同時に、デジタルツールへのアプローチが苦手な来館者には、壁面グラフィックで「アナログ」で詳細な情報を掲示する。

さまざまな情報を、写真と文字という
アナログで情報を掲示、あらゆる
年齢層に対応して、情報入手への
アプローチハードルを下げる。

検索映像装置 3 台

コンテンツはサテライトカートと同じデータ



サテライトカートを使って
床の地図上を移動。
地図のスポット該当部に
合致すると情報が
手元のモニターに表示される

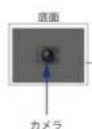


■ カートの情報は 3 つのコースから選択でき、
それぞれに応じた情報をモニターに表示する

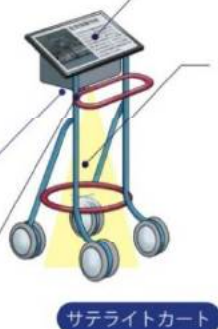
コース選択や各種の
情報がモニターに
表示される

カメラで床の地図をトレース

直下に向けてカメラを
設置、床の地図をトレースして
位置を判定、該当部に移動すると
情報をモニターに表示する



カメラ

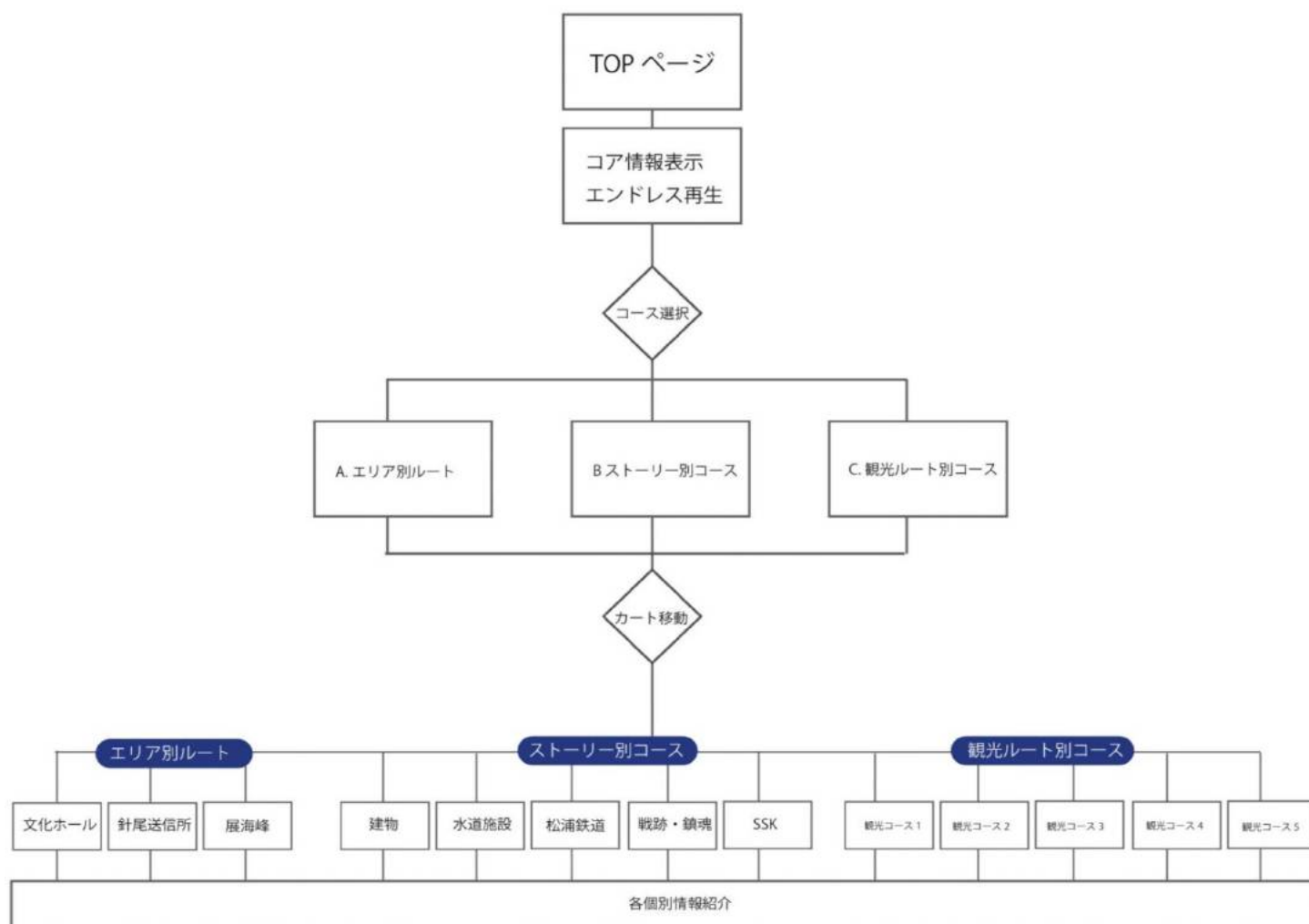


サテライトカート

＜アクセスカートのフロー＞

待機画面では、情報のメインとなるコア情報をエンドレス再生。

3つのコース選択後、それぞれのカート移動位置に応じた情報をモニターに表示する。移動の途中で、コース選択を変更する事も可能。

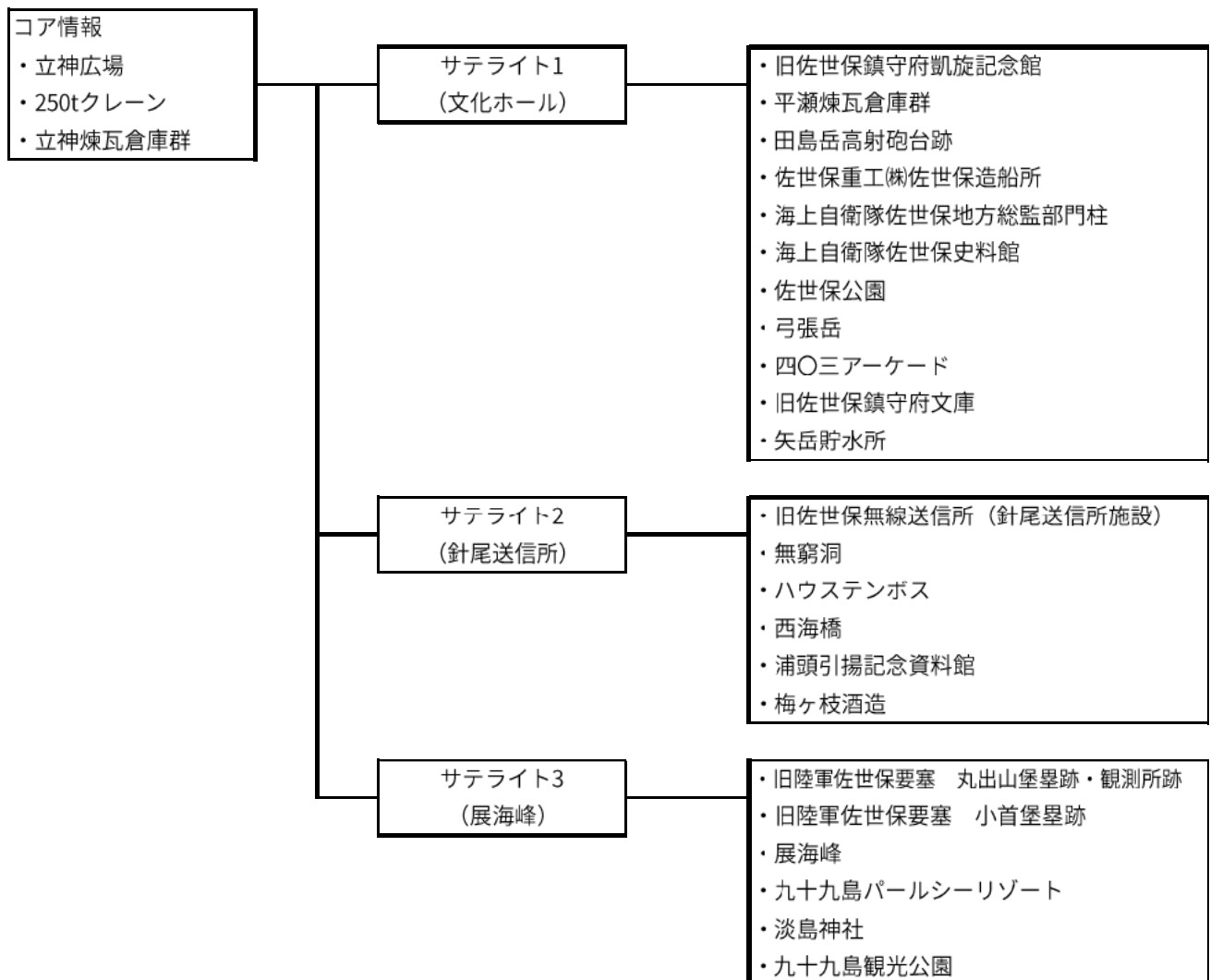


※サテライトの情報を補足する動画情報もモニター上に表示される

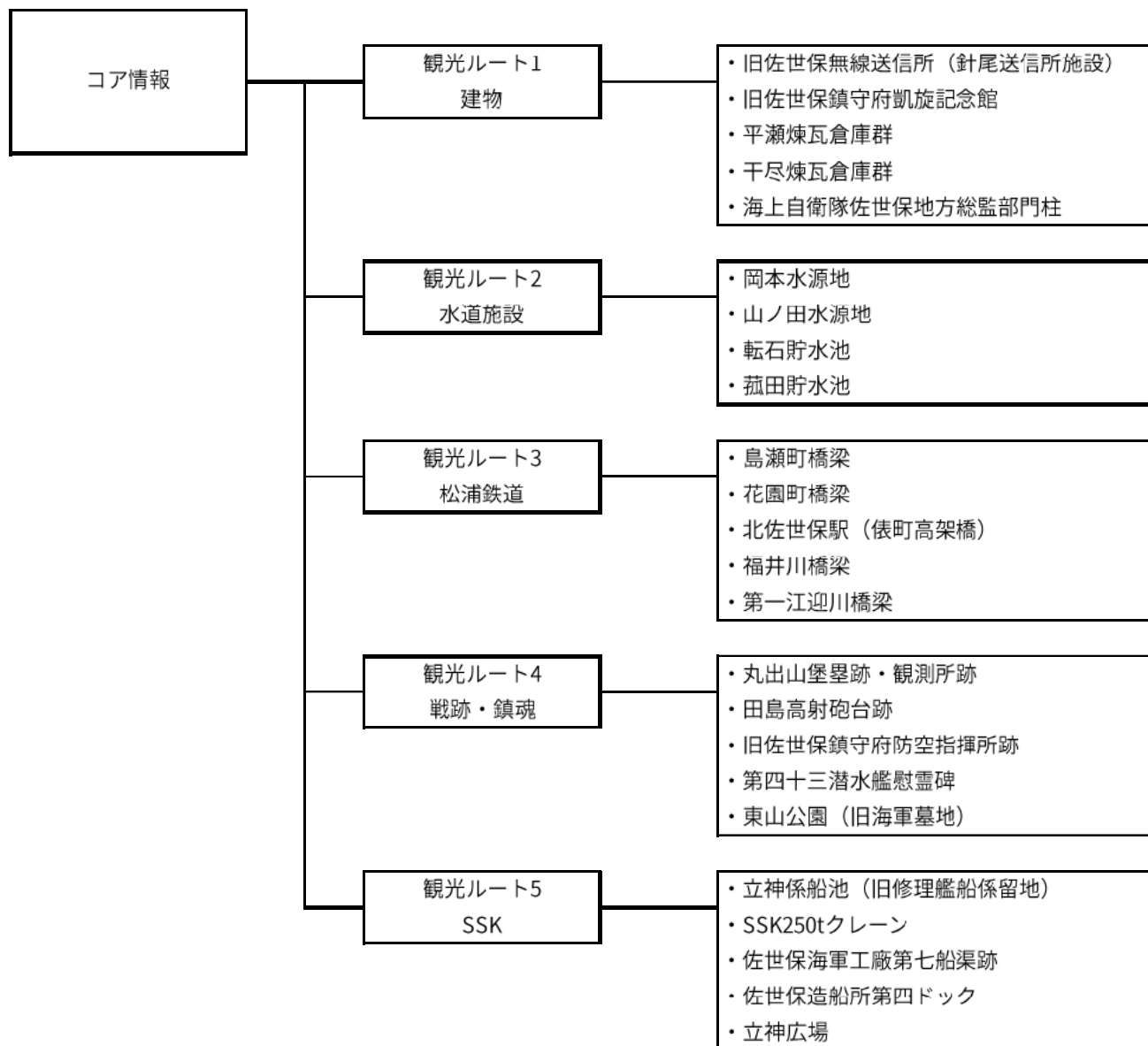
※ストーリー別コース上映中は、サテライトカートのモニターに該当箇所の位置情報や動画情報の補助情報が表示される

※観光ルート別コース上映中は、カートのモニターにコース上の位置情報や動画情報が表示される

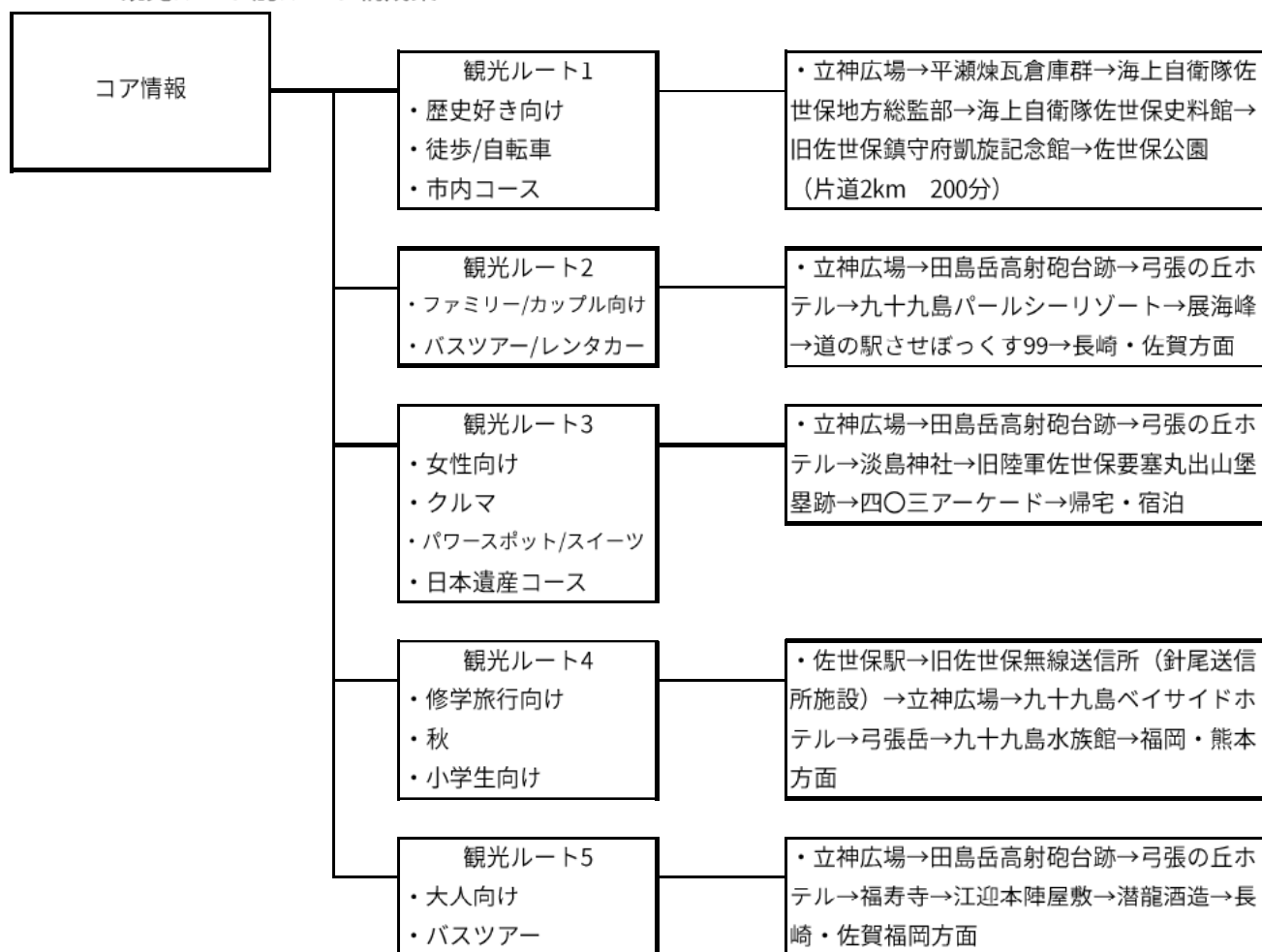
エリア別ルート構成案



ストーリー別ルート構成案



観光ルート別ルート構成案



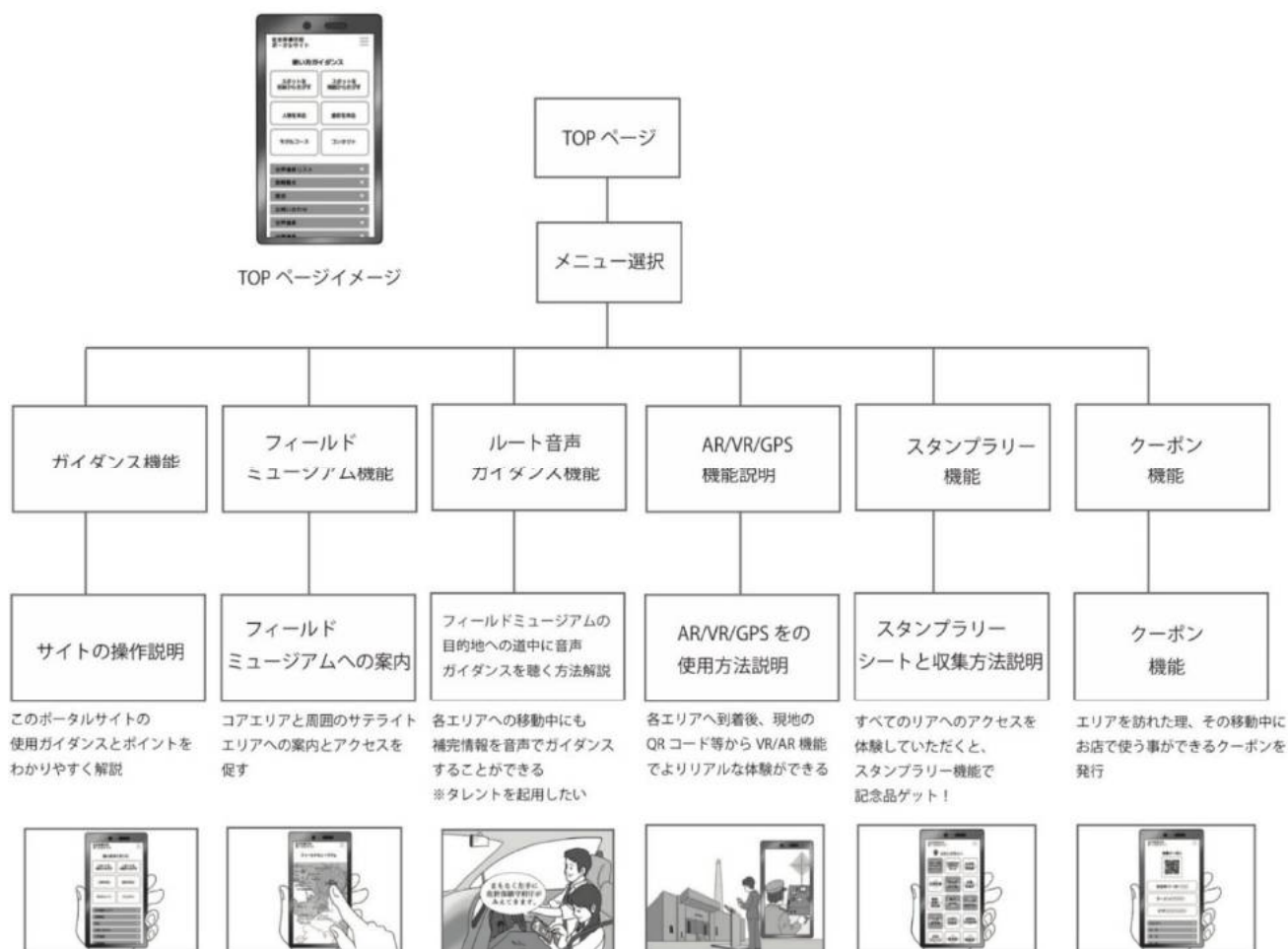
これら3つの構成案は観光課の進めるシルバーマップ等と調整を図り、より精度と活用性の高い構成へとブラッシュアップする。

5. ポータルサイト構成

ポータルサイトでは、6つの選択肢を提供。

サイト全体のチュートリアルからクーポンまで、日本遺産に関するすべての情報を一元管理する。

ARやGPS機能も包含させ、使い易いインターフェイス仕様を企画する。



5 管理運営に関する検討

目的

- ・官民連携による立神広場の持続可能な管理運営体制を構築する
- ・官民連携を効果的に行い、魅力的な空間作りを実現するため、民間事業者の収益を担保しうる条件を検討する

方針

- ・民間事業者目線から立神広場のコンセプト、目指すべき姿を描く
- ・基本コンセプトに合わせ、官民連携による管理運営の基本方針を想定する
- ・「賑わい」「収益」をもたらすイベント案を想定する
- ・最終的に「持続可能な管理運営体制」を備えるのに必要なゾーニング、施設配置案への意見を取りまとめる

(1) 立神広場の集客圏分析

1：誘致圏内人口

①車15分圏の人口等

車15分圏の人口は184,152人であり、総世帯数は77,825世帯、うち一般世帯数は77,594世帯である。また、6歳未満世帯員のいる一般世帯数は7,017世帯であり、一般世帯数の9.0%にあたる。一方、65歳以上の人口は52,429人であり、総人口の28.5%にあたる。

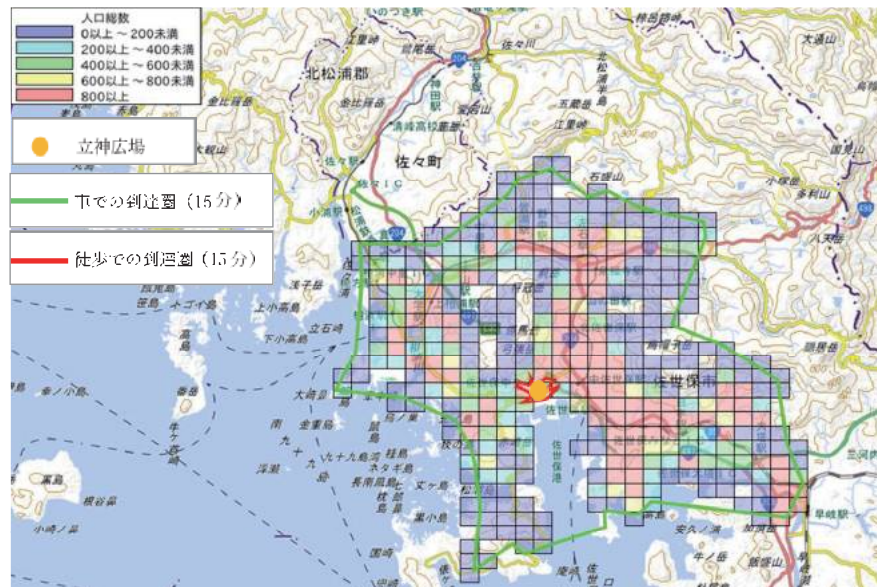


図1 車での到達圏（15分）における総人口の分布 資料）国勢調査（2015年）

注）メッシュデータは500メッシュ

②徒歩15分圏の人口等

徒歩15分圏の人口は6,751人であり、総世帯数は1,577世帯、うち一般世帯数は1,550世帯である。また、6歳未満世帯員のいる一般世帯数は84世帯であり、一般世帯数の5.42%にあたる。一方、65歳以上の人口は1,185人であり、総人口の18.0%にあたる。



図2 徒歩での到達圏（15分）における総人口の分布 資料）国勢調査（2015年）

注）メッシュデータは250メッシュ

③車15分圏の将来人口推計

車15分圏の将来の人口推移は、2025年で165,421人、2030年で157,071人と推計されている。

図3 車で15分圏の到達圏（15分）における2025年時点での人口（推計）

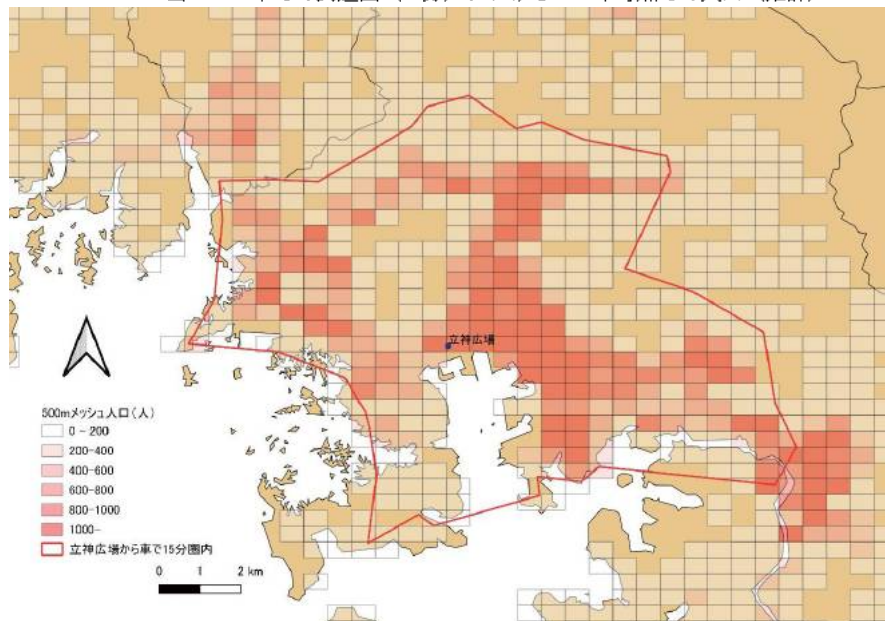
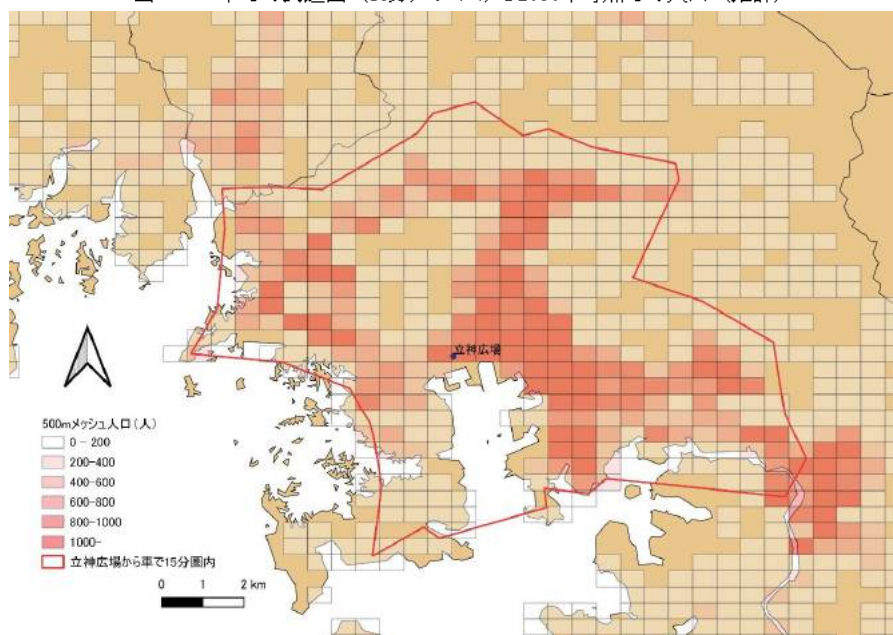


図4 車で15分圏の到達圏（15分）における2030年時点での人口（推計）



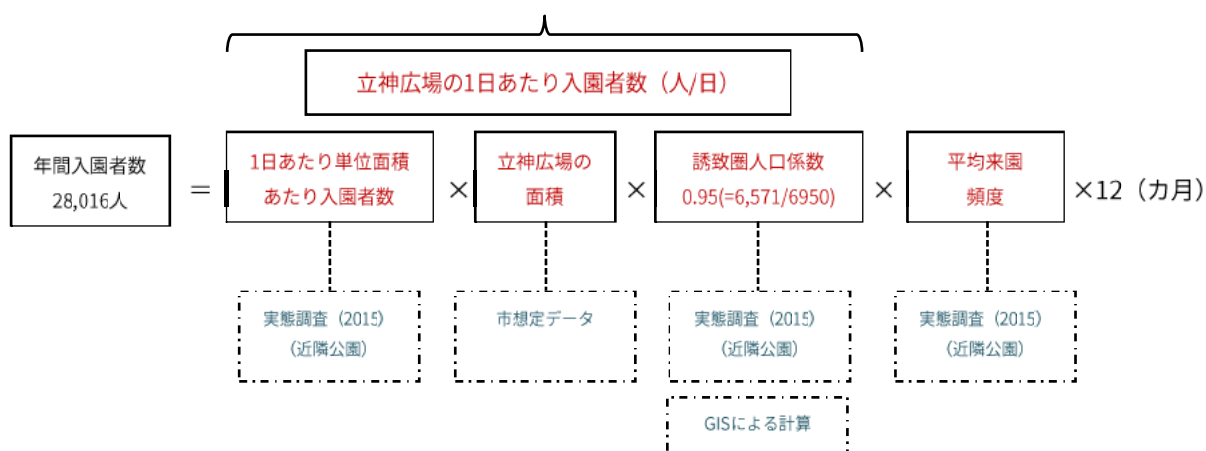
※ 5歳階級別の人口を整理中

2-1 推計利用者数の算定と目標値の設定

1：来場者数の仮定

$$\boxed{\text{立神広場の年間利用者数}} = \begin{cases} \text{① } \underline{\text{近隣公園}} \text{としての年間公園利用者数} \\ \text{or} \\ \text{② } \underline{\text{ガイダンス施設}} \text{の年間利用者数} \\ \text{+} \\ \text{③ } \underline{\text{イベント}} \text{による公園利用者数} \end{cases}$$

① 近隣公園として考えた場合の年間公園利用者数：28,016人



※ 1日あたり単位面積あたり入園者数 (人/ha/日)

= (「休日」の1日あたり単位面積あたり入園者数 × 2 + 「平日」の1日あたり単位面積あたり入園者数 × 5) / 7

※ 誘致圏人口係数 = 立神広場の誘致圏人口 / 近隣公園の平均誘致圏人口

※ 「近隣公園」の誘致圏：一般的な定義は半径500m圏内であるが、立神広場の位置が海沿いのため、適切な誘致圏人口が出しづらい。そのため、立神広場の誘致圏については、徒歩15分圏内を利用することとする。

② ガイダンス施設としての年間利用者数31,000人（当初計画）+③イベントによる公園利用者数10,000人（仮定）

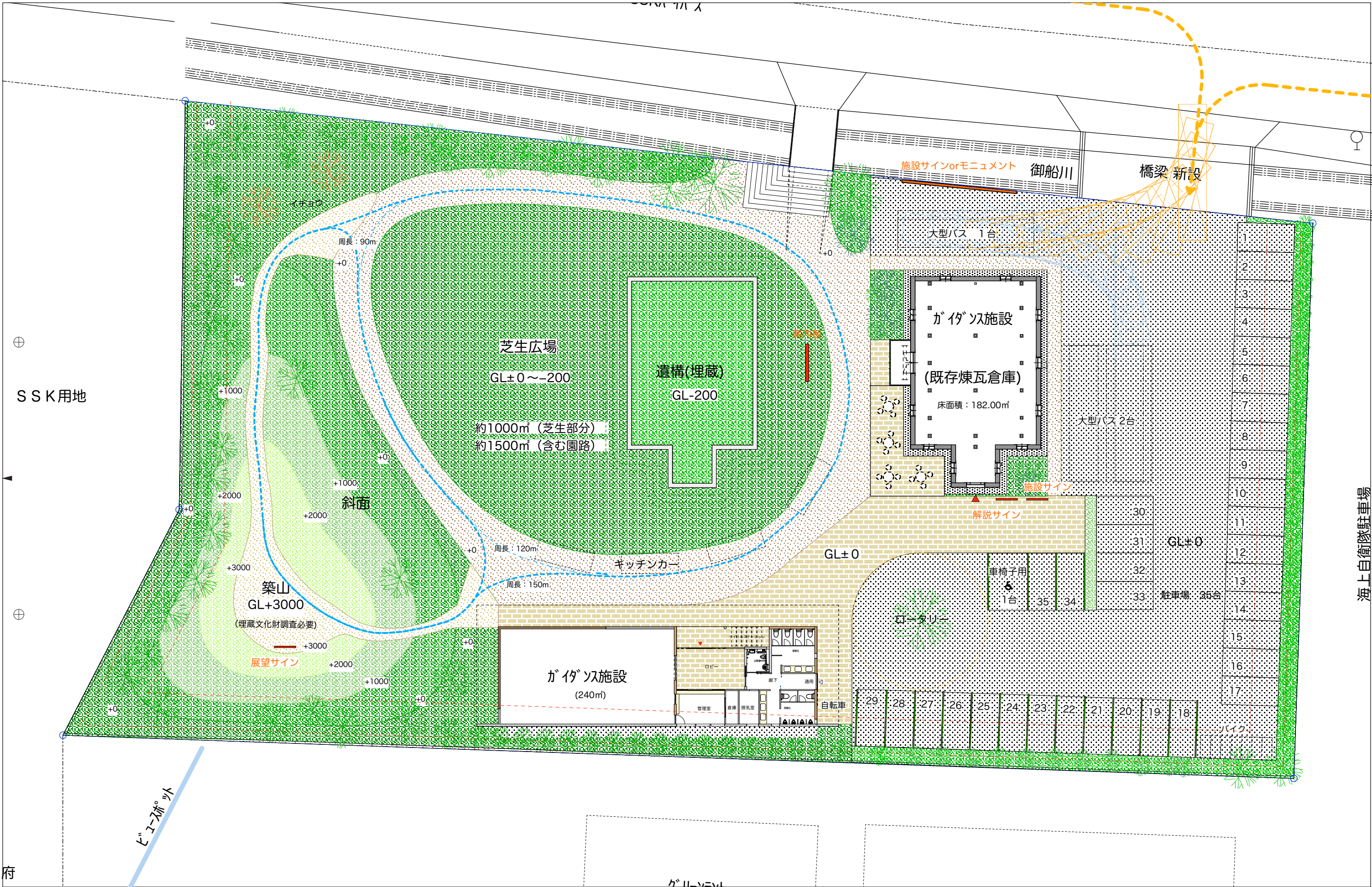
・先進事例として「美馬市観光交流センター（徳島県）」を想定施設：観光交流センター
年間来場者数：10,289人

建物用途：観光交流室、茶房、和傘・藍染体験工房

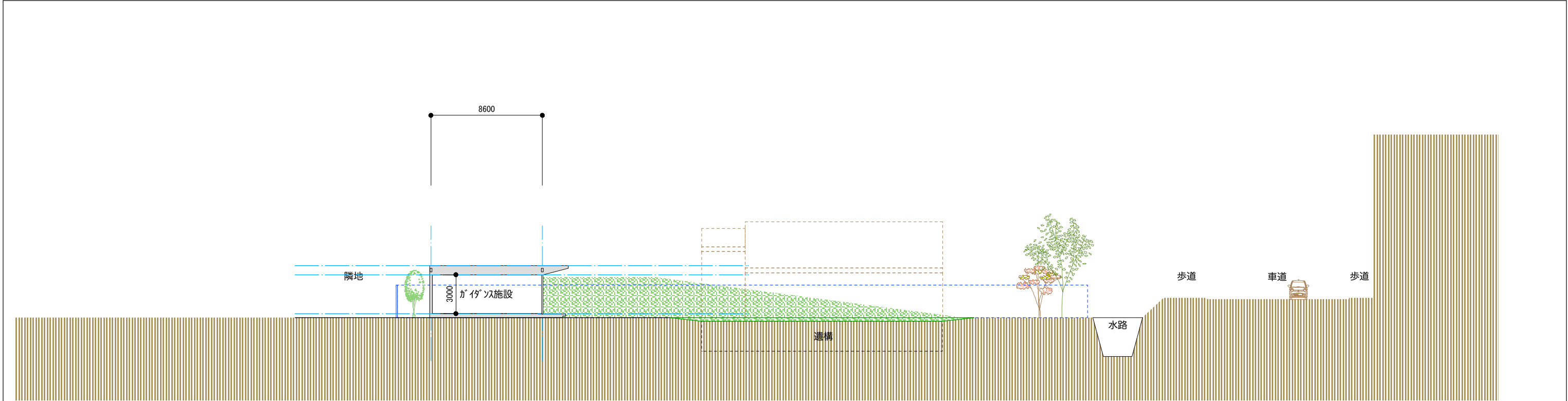
延べ床面積 229.83 m²（南棟 48.51 m²、東棟 62.39 m²、西棟 118.93 m²）

利用料金：無料

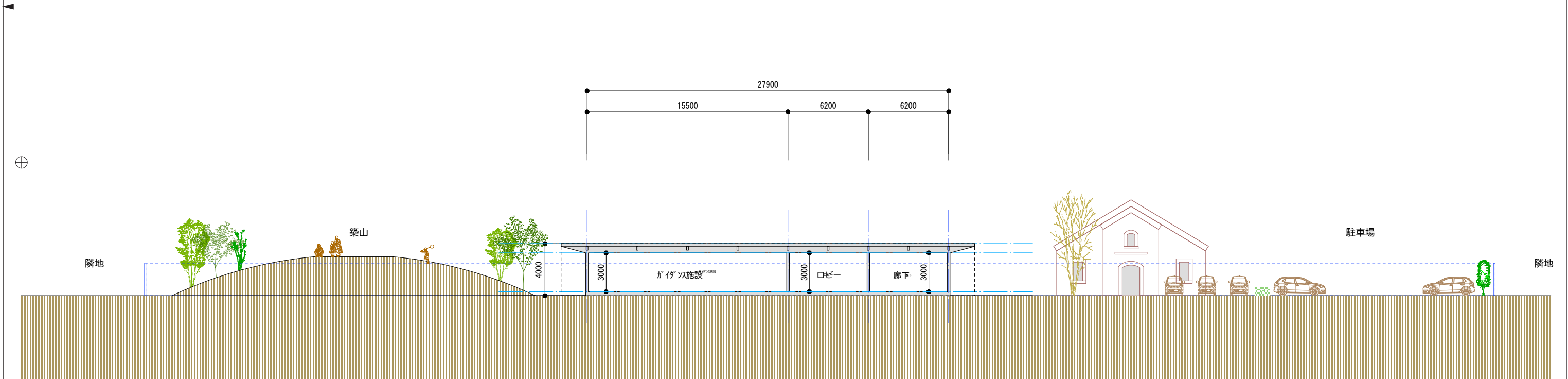
飲食・物販：飲食店あり、物販なし



有限会社 設計機構ワークス 一級建築士設計事務所（登録番号：福岡県知事登録 第 1-60192 号）	業務名	立神広場展示等基本設計	担当	坂口	名称	全体配置図	工期	日付	① 初稿	縮尺	S=1/300	図面番号	19
	クライアント	佐世保市								出力	A3	種別	配置図

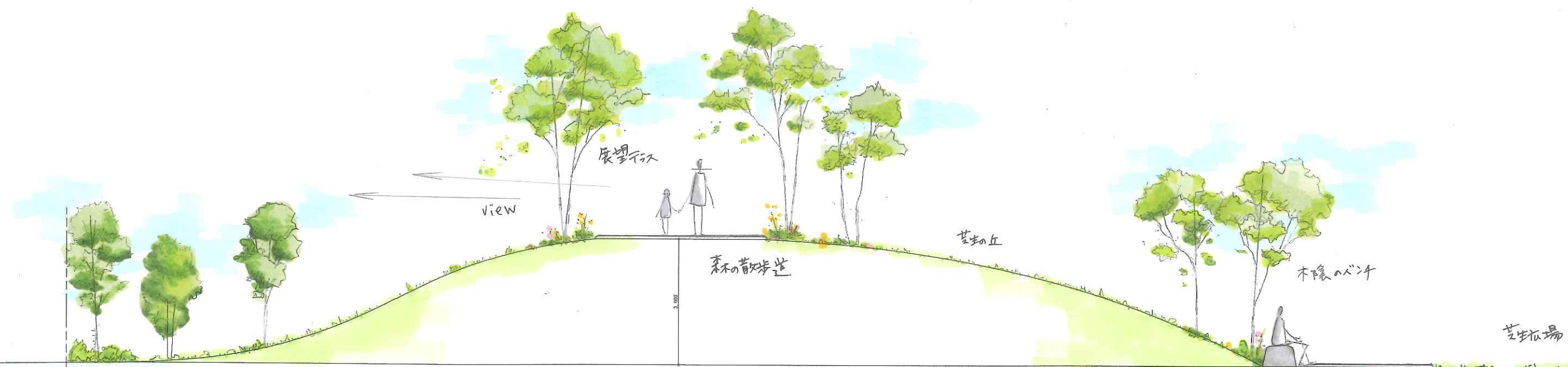


南北断面図



東西断面図

有限会社 設計機構ワークス 一級建築士設計事務所（登録番号：福岡県知事登録 第 1-60192 号）	業務名 立神広場展示等基本設計	担当 坂口	名称 全体断面図	工期	日付	① 初稿	縮尺 S=1/300	図面番号 21
	クライアント 佐世保市						出力 A3	種別 断面図



A-A' 断面図



有限会社 設計機構ワークス
一級建築士設計事務所（登録番号：福岡県知事登録 第 1-60192 号）

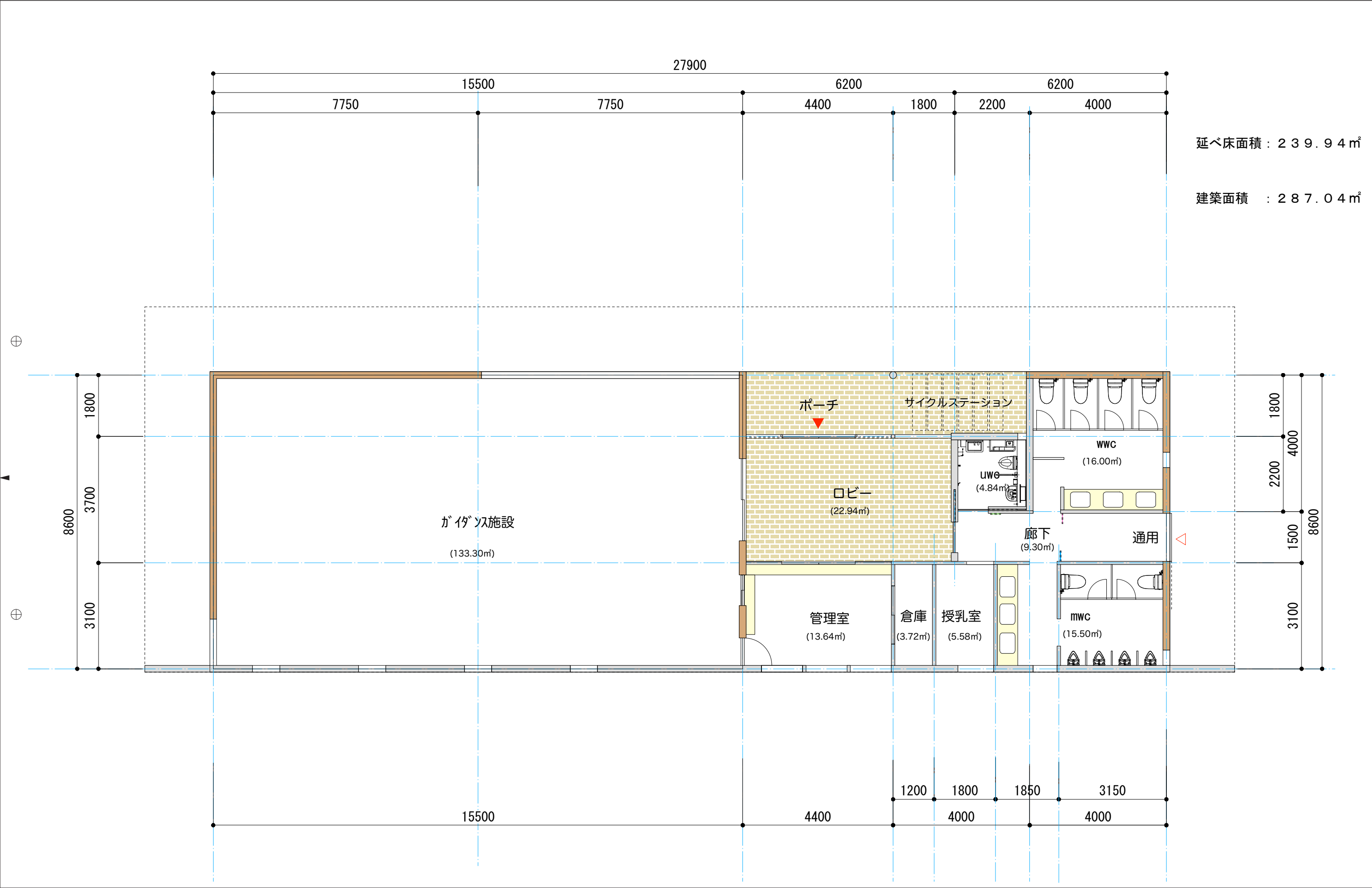
業務名
立神広場展示等基本設計
クライアント
佐世保市

担当
坂口

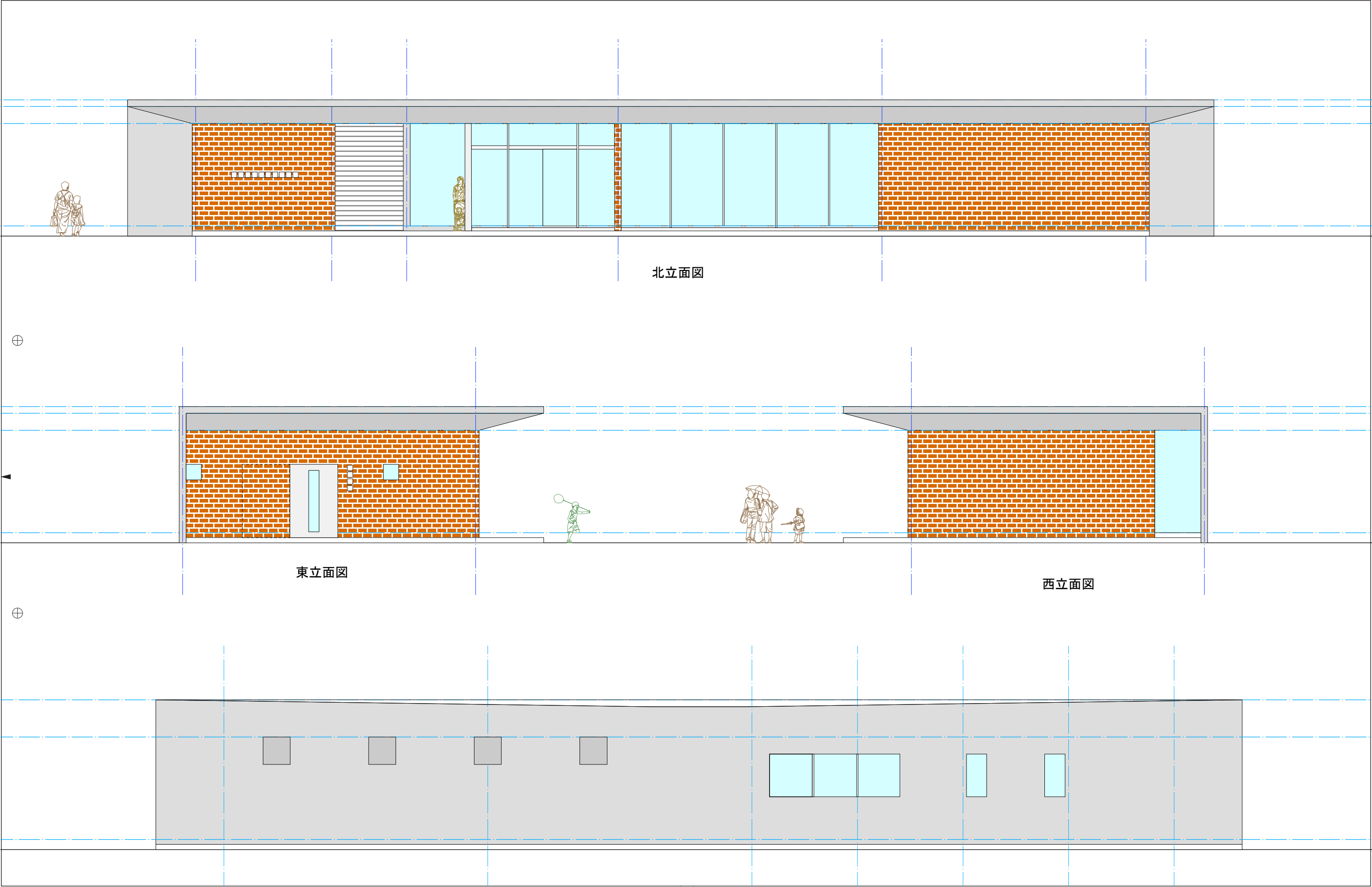
名称
全体外構立面図

工期
日付
出力
初稿

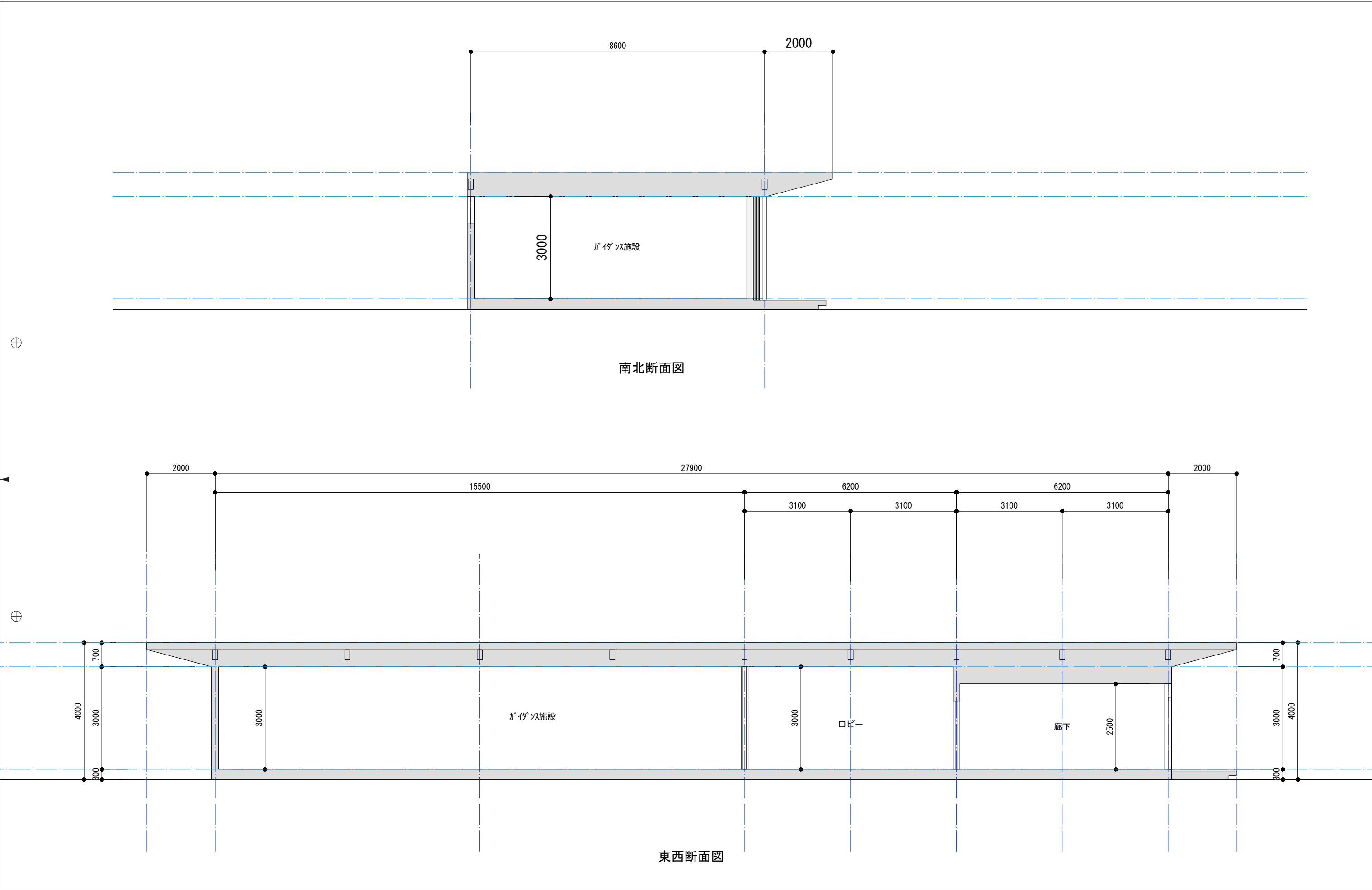
縮尺
図面番号
24
種別
立面図



有限会社 設計機構ワークス 一級建築士設計事務所（登録番号：福岡県知事登録 第 1-60192 号）	業務名 立神広場展示等基本設計	担当 坂口	名称 新築ガイダンス施設 平面図	工期	日付	① 初稿	縮尺 S=1/100	図面番号 26
	クライアント 佐世保市						出力 A3	種別 平面図



有限会社 設計機構ワークス 一級建築士設計事務所（登録番号：福岡県知事登録 第 1-60192 号）	業務名 立神広場展示等基本設計	担当 坂口	名称 新築ガイダンス施設 立面図	工期	日付	① 初稿	縮尺 S=1/100	図面番号 27
	クライアント 佐世保市						出力 A3	種別 立面図



有限会社 設計機構ワークス 一級建築士設計事務所（登録番号：福岡県知事登録 第 1-60192 号）	業務名 立神広場展示等基本設計	担当 坂口	名称 新築ガイダンス施設 断面図	工期	日付	① 初稿	縮尺 S=1/100	図面番号 28
	クライアント 佐世保市						出力 A3	種別 断面図

外部仕上げ表											
棟	室名		仕上げ	下地		断熱		防火認定番号	備考		注記
ガイダンス施設	屋根	①	塩化ビニールシート防水t=2.0mm	耐火野地板t20（鋼製下地）		ウレタンフォーム吹付 t50		指定なし			
	外壁	①	押出成形セメント版t=60フッ素樹脂塗装仕上げ	鉄骨		ウレタンフォーム吹付 t50		指定なし			
		②	押出成形セメント版t=60煉瓦タイル貼りt=18mm	モルタル		モルタル					
		③	アルミ PL-2.0 曲げ加工（フッ素樹脂焼付塗装） 下地：押出成形セメント版t=60	モルタル		モルタル					
	軒裏		ケイ酸カルシウム板t=6+6mmEP-G		鋼製下地						
	軒先		アルミ PL-5.0 カットパネル（フッ素樹脂焼付塗装）								
	樋		ステンレス製								
	サッシ		アルミ（ステンカラー）								
⊕内 部 仕 上 表											
階	室名	床	（下地）	巾木	H	壁	（下地）	天井	（下地）	備考	
ガイダンス施設	ロビー	磁器タイル貼り	モルタル	スプ ル+ス+OF	50	寒冷紗パテしごきEP	P.B t12.5	寒冷紗パテしごきEP	PB t9.5		
	展示室	カーベットタイル貼り	フリーアクセスフロアー	スプ ル+ス+OF	50	寒冷紗パテしごきEP	P.B t12.5	寒冷紗パテしごきEP	PB t9.5		
	管理室	長尺シート貼 t2.0	フリーフロア+パネティクルボード t20	スプ ル+ス+OF	50	ビニールクロス貼り	P.B t12.5	化粧せっこうBt9.5ジブトン			
	倉庫	長尺シート貼 t2.0	フリーフロア+パネティクルボード t20	スプ ル+ス+OF	50	ビニールクロス貼り	P.B t12.5	化粧せっこうBt9.5ジブトン			
	授乳室	長尺シート貼 t2.0	フリーフロア+パネティクルボード t20	スプ ル+ス+OF	50	ビニールクロス貼り	P.B t12.5	化粧せっこうBt9.5ジブトン			
	廊下	長尺シート貼 t2.0	モルタル	スプ ル+ス+OF	50	ビニールクロス貼り	P.B t12.5	化粧せっこうBt9.5ジブトン			
	UWC	磁器タイル貼り	モルタル			キッチンパネル貼り	P.B t12.5	ケイカル板t=6（目透し貼）EP			
	WWC	磁器タイル貼り	モルタル			キッチンパネル貼り	P.B t12.5	ケイカル板t=6（目透し貼）EP			
	MWC	磁器タイル貼り	モルタル			キッチンパネル貼り	P.B t12.5	ケイカル板t=6（目透し貼）EP			
⊕											
特記事項					凡例				その他		
					【不燃番号】				【塗料】		
					・ プラスターボード（不燃） t=12.5： NM-8612				EP：水性自然塗料クイック&イージー／ブライットカラー		
					・ プラスターボード（不燃） t=9.5： QM-9828				OF：自然塗装オイルフィニッシュ・・・グロスオイル：ウッドコート（ホワイト） =1:1／ブライットカラー		
									UC：ウレタンクリア塗装・・・ファインウレタンU100木部用クリアー / 日本ペイント		
					＊指定建築材料は日本工業規格又は日本農林規格に適合するものとする						

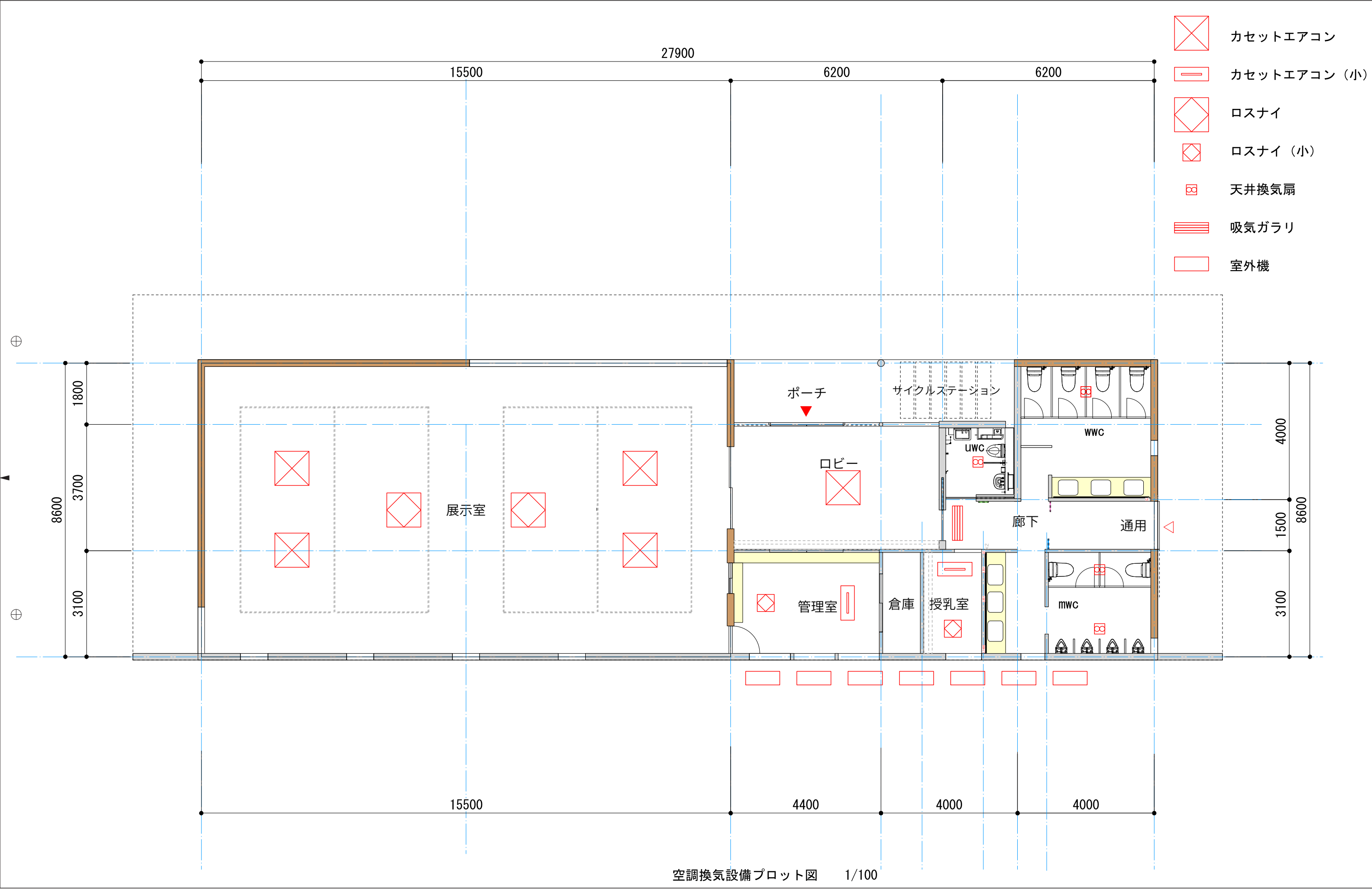




佐世保立神展示施設					日付	21.3.22	番号	200****
照明器具表					合計電力	2.987	KVA 合計電力/面積	12.82 VA/m2
					面積	233.00 m2	坪	70.48
No,	記号	メーカー	名称/型番	ランプ	VA	台数	入力電力	備考
1	F1	ModuleX	ModuleX 100 Foundation downlight	LED (3500K)	43 VA	27	1.161 KVA	光源・ドライバー付
2	F2	ModuleX	MSP-100F/MC/SWF/F/30B35/T1/1	COB 33 W	32 VA	4	0.128 KVA	光源・ドライバー付
3	F3	ModuleX	ModuleX 80 Foundation downlight	LED (3500K)	17 VA	25	0.425 KVA	光源・ドライバー付
4	F4	ModuleX	MSP-080F/MC/SWF/F/11B30/T1/1	COB 13 W	17 VA	4	0.068 KVA	光源・ドライバー付
5	A1	ModuleX	ModuleX 80 Foundation downlight	LED (3500K)	16 VA	2	0.032 KVA	光源・ドライバー付
6	S1	ModuleX	MMP-060A/CC/SWF/N/10B35/T1/1	COB 12 W	21 VA	30	0.630 KVA	光源・ドライバー・体 セミディフューザーレンズ (MLA-080/DS03)
7	L1480	ModuleX	ModuleX 80 Spotlight	LED (3000K)	25 VA	4	0.100 KVA	専用ドライバー (180W電源):NTC-E180CV0241×2 ※ 現場にて長さ等確認し発注の事
8	L1180	ModuleX	MMP-080S/3H/W/1P/N/20B30/T1/1	COB 17 W	21 VA	2	0.042 KVA	ConsciLed C-ROD 800
9	L851	ModuleX	ConsciLed C-ROD 800	LED (3000K)	21 VA	2	0.042 KVA	NTS-SLR11-1480-30K
10	L551	ModuleX	ConsciLed C-ROD 800	LED (3000K)	13 VA	2	0.026 KVA	NTS-SLR11-1180-30K
11	L100	ModuleX	ConsciLed C-ROD 800	LED (3000K)	5 VA	2	0.010 KVA	NTS-SLR11-0851-35K
12	LE	ModuleX	ConsciLed C-ROD 800	LED (3000K)	2 VA	4	0.008 KVA	NTS-SLR11-0551-35K
13	CCRAC 1486	ModuleX	ConsciLed C-ROD 800	LED (3000K)	45 VA	4	0.180 KVA	NTS-SLR11-0100-35K
14	CCRAC 1249	ModuleX	ConsciLed C-ROD 800	LED (3000K)	40 VA	2	0.080 KVA	NTS-SLR11-DC-END-35K
15	CCRAC 0318	ModuleX	ConsciLed C-ROD 800	LED (3000K)	15 VA	1	0.015 KVA	NTS-SLR11-DC-END-35K
16		設計者要確認	ConsciLed C-ROD 800	LED (3000K)	40 VA	1	0.040 KVA	MAP-LED CCRAC/W/1486-35K/A1/PRO
特記事項					※ No. 01 ~ 15 照明器具問合せ先 (株)Modulex 福岡営業所 担当 塚本 TEL:092-732-4211 FAX:092-732-4311 fukuoka@modulex.jp			
・照明器具の開口寸法、取り付け方法は各メーカーの仕様書を確認の事								
・ダウンライト取り付けの場合は事前に天井フットコロと器具高を確認の事								
・器具色は最終仕様を確認の上、発注の事								
・引き渡し前に必ず点灯確認をする事								
・現場にて器具取り付け位置等の変更が必要な場合は必ず設計者に確認の事								
・発注色に関しては日塗工No.を確認の上、発注の事								
・間接照明器具及び什器内照明器具は実寸法を確認の上、発注の事								
・専用調光器が必要な場合(ローボルト器具、蛍光灯器具等)は各メーカーに確認の事								
・各スイッチに負荷名称等を明記の事								
・個別の納入仕様書に記載の消費電力は JIS C 8105-3 の試験測定方法による (ModuleX製品)								



有限会社 設計機構ワークス 一級建築士設計事務所 (登録番号: 福岡県知事登録 第 1-60192 号)	業務名 立神広場展示等基本設計	担当 坂口	名称 新築ガイダンス施設 照明表	工期	日付	① 初稿	縮尺	図面番号
	クライアント 佐世保市						出力 A3	31 種別 表



有限会社 設計機構ワークス 一級建築士設計事務所（登録番号：福岡県知事登録 第 1-60192 号）	業務名 立神広場展示等基本設計	担当 坂口	名称 新築ガイダンス施設 空調計画図	工期	日付	① 初稿	縮尺 S=1/100	図面番号 32
	クライアント 佐世保市						出力 A3	種別 平面図

佐世保立神展示施設 空調表									
✕ カセットエアコン		▬ カセットエアコン（小）		◇ ロスナイ		◇ ロスナイ（小）			
									
三菱電機 四方向天井カセット型(ファインパワーカセット) PL-ZRMPシリーズ同等		三菱電機 二方向天井カセット型(スリムZR) PL-ZRMPシリーズ同等		三菱電機 天井カセット型 LGH^シリーズ同等		三菱電機 天井カセット型 LGH^シリーズ同等			
⊞ 天井換気扇		≡ 吸気ガラリ		▭ 室外機					
									
三菱電機 天井埋め込み型 サニタリー用 VDシリーズ同等		三菱電機 ブリーズライングリル AS-GBシリーズ同等		三菱電機 スリムZR PUZ-ZRMPシリーズ同等					

(3) 既存煉瓦倉庫 展示構成図面

床面積：182.18 m²

【4】 日本遺産「鎮守府」映像を投影

物販エリアで既存の映像を環境映像としてエンドレスで投影する。

ソフト候補

- ①日本遺産「鎮守府・佐世保」ダイジェスト 4分 8秒
- ②同 建物編 12分 19秒
- ③同 水道設備編 9分 13秒
- ④同 SSK 編 10分 19秒
- ⑤同 戦跡・鎮魂編 11分 29秒。



【3】-1 企画展示エリア（ガラスケース等）

これまでや今後の発掘調査によって出土した貴重な実物資料についてに生活関連のものを中心に紹介する。

また発掘調査の概要を屋外基礎の一角で簡単なサインで紹介する。

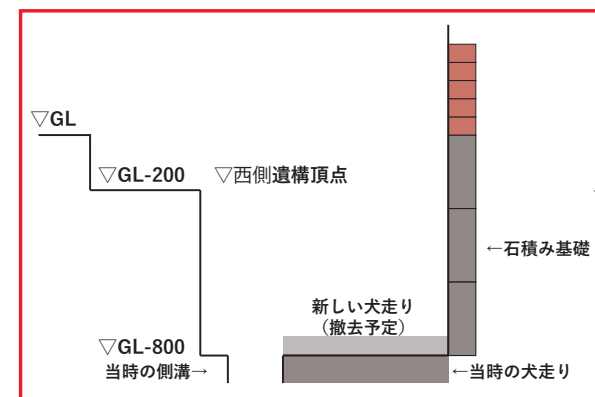


【3】-2 人物パネル（グラフィックパネル）

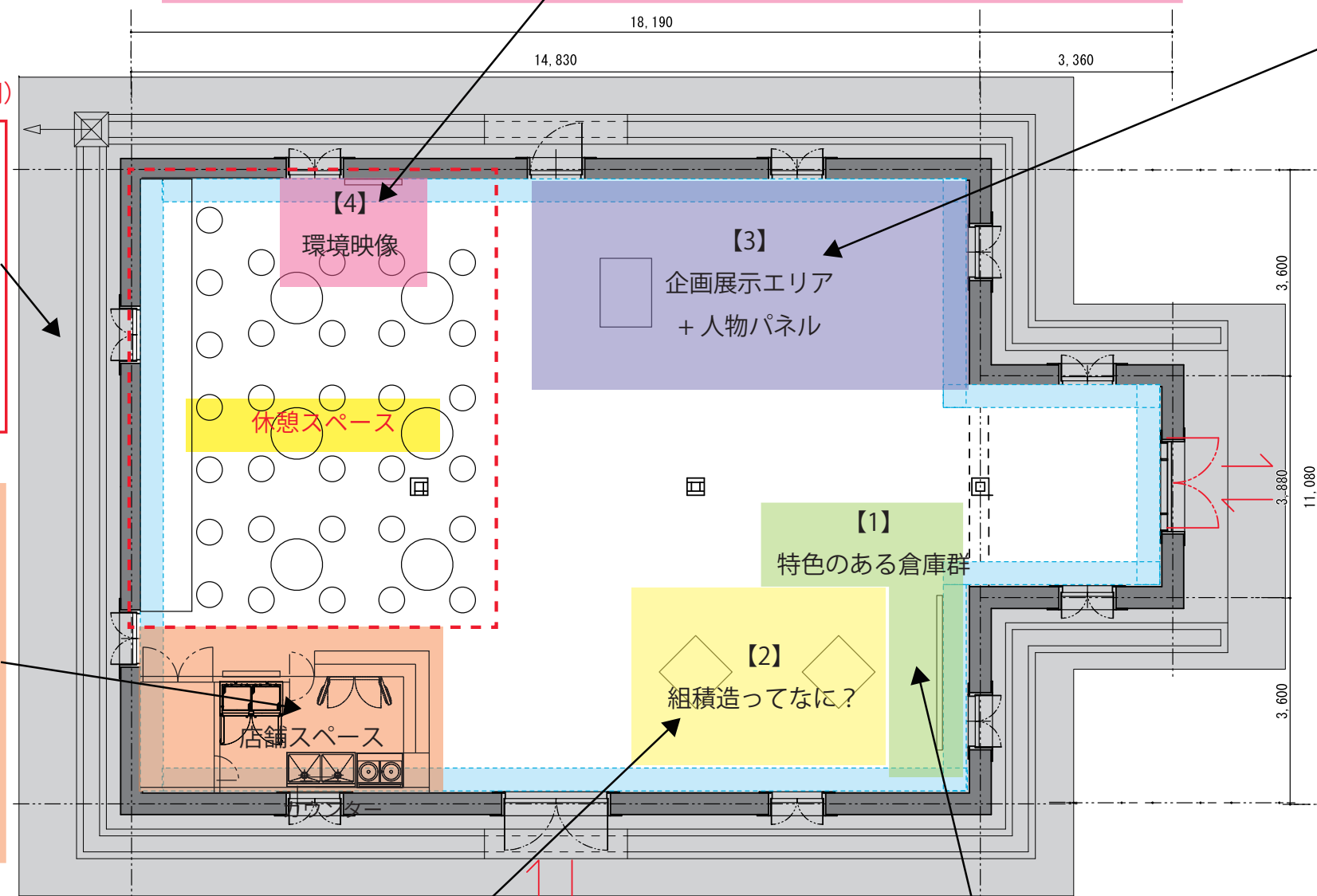
吉村長策、真島健三郎といった佐世保鎮守府に広がる様々な建造物に深く関わった技術者たちを当時の写真をパネルとして、その技術や人となりを紹介する。



壕の断面想定図（既存煉瓦倉庫の基礎公開）



店舗スペース



【2】-1 組積造ってなに？（学習コーナー）

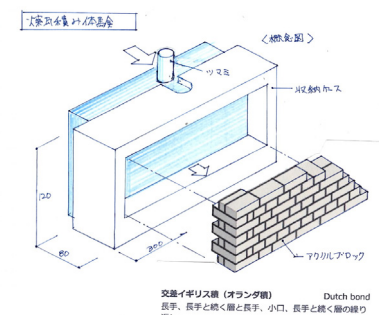
関東大震災で甚大な被害を受けた煉瓦を積み上げる組積造は国内では造られなくなっていったが、佐世保には

鎮守府に関連する多くの組積造建物が残っている。一般的な煉瓦造や鉄骨煉瓦造についてその構造の特徴を図や写真で紹介する。



【2】-2 組積造ってなに？（体験）

模型の煉瓦ブロックを積み上げる体験型の展示キットを用意して様々な煉瓦の積み方があったことについて紹介する。



【1】 特色ある倉庫群（グラフィックパネル）

艦隊への補給という鎮守府の役割を象徴する倉庫群。立神地区には兵器類が保管され、煉瓦造から鉄骨煉瓦造へ移行する技術過程を見ることが出来る。平瀬地区には食料や衣類が保管され米軍基地内にあるため間近での見学が難しいが佐世保を象徴する景観の一つとなっている。干尽地区には魚雷や爆弾本体が保管され現在も港湾荷役を担っている。これらの特徴ある倉庫群について写真と図で紹介する。



